

2026.1.29  
薩摩中央高校  
出前講座資料

# 最近の農政の動向等について

---

令和8年1月  
農林水産省九州農政局鹿児島県拠点

# 本日の流れ

---

- 1 鹿児島県の農業
- 2 「食料・農業・農村基本法」の改正
- 3 「環境と調和のとれた食料システムの確立」
- 4 バランスの良い食生活や地産地消も大切
- 5 みどり戦略 県拠点の取組
- 6 「スマート農業・農業DX」
- 7 輸出拡大に向けた取組
- 8 最近の米事情について

# 鹿児島県の農業は、全国でも高い位置！

- ・ 農業産出額は、全国 2 位 (前年に比べて、251億円増加)
- ・ 生産農業所得は、全国 4 位 (前年に比べて、89億円増加)

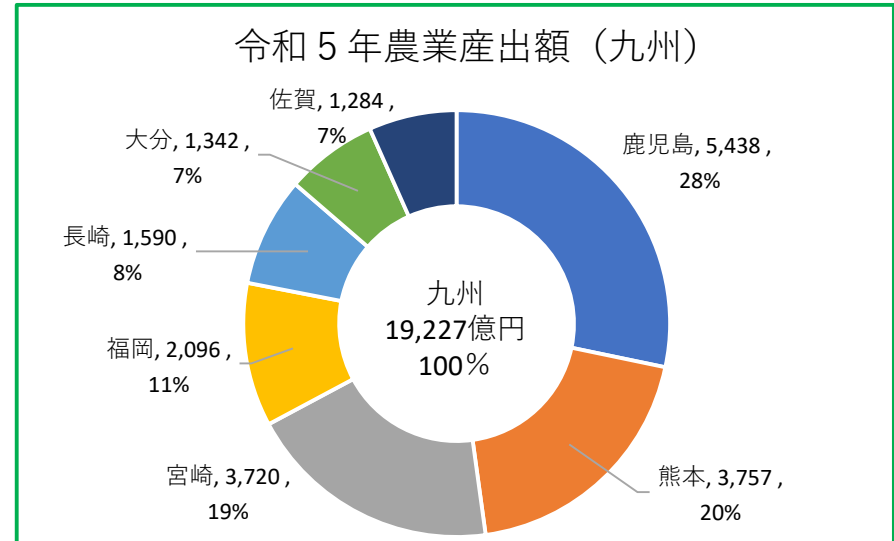
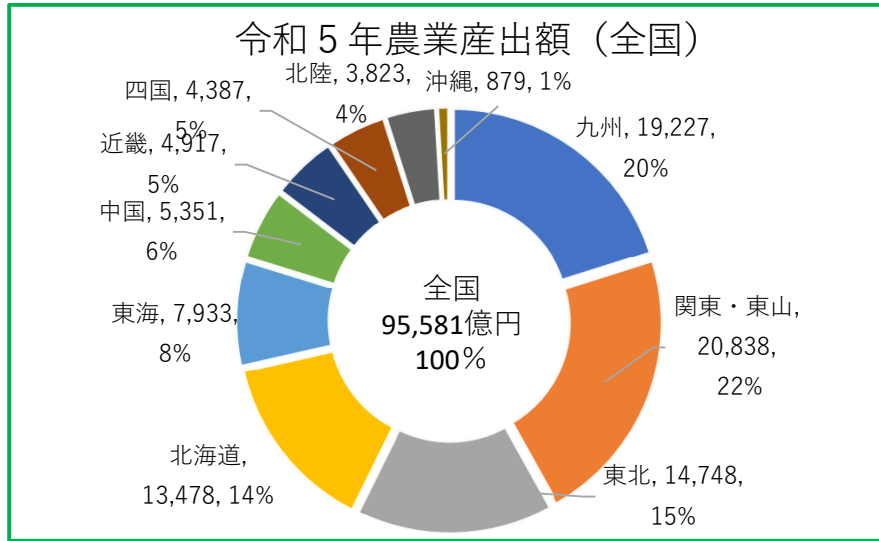
【農業産出額】

1位	北海道	1兆4,817億円
2位	鹿児島県	5,689億円
3位	茨城県	5,494億円
4位	千葉県	4,533億円
5位	青森県	4,119億円
6位	熊本県	4,116億円
7位	宮崎県	3,725億円
8位	愛知県	3,551億円
9位	栃木県	3,448億円
10位	岩手県	3,269億円

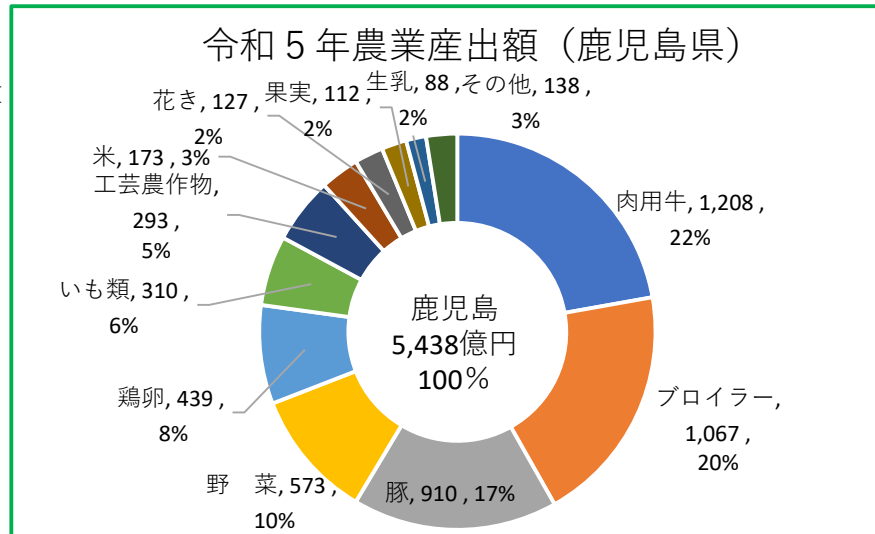
【生産農業所得】

1位	北海道	6,242億円
2位	茨城県	2,002億円
3位	熊本県	1,744億円
4位	鹿児島県	1,623億円
5位	千葉県	1,537億円
6位	青森県	1,515億円
7位	愛知県	1,347億円
8位	栃木県	1,323億円
9位	長野県	1,316億円
10位	宮崎県	1,235億円

○ 農業産出額（全国、九州、鹿児島県）（令和5年）



注：関東・東山とは、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野  
東海とは、岐阜、静岡、愛知、三重



資料：「令和5年生産農業所得統計」

○ 鹿児島県の農業産出額と全国上位の農産物（令和5年）

農業産出額 全国 2位  
5,438億円（1位 北海道）



肉用牛 全国 2位  
1,208億円（1位 北海道）



豚 全国 1位  
910億円（2位 北海道）



茶（生葉） 全国 1位  
140億円（2位 静岡県）



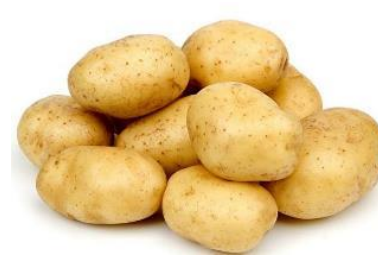
ブロイラー 全国 1位  
1,067億円（2位 宮崎県）



鶏卵 全国 3位  
439億円（1位 千葉県）



ばれいしょ 全国 3位  
115億円（1位 北海道）



さとうきび 全国 2位  
137億円（1位 沖縄県）



茶（荒茶） 全国 2位  
74億円（1位 静岡県）



かんしょ 全国 2位  
195億円（1位 茨城県）



資料：「令和5年生産農業所得統計」

# (参考) かごしまブランド

県内の農畜産物で、28品目 (令和7年4月現在)



あお・・・ 南国の広い青空  
 みどり・・・ 大自然のもたらす恵み  
 オレンジ・・・ 人の情熱  
 あか・・・ 鹿児島県の象徴としての太陽



(令和7年4月)



かごしまブランド



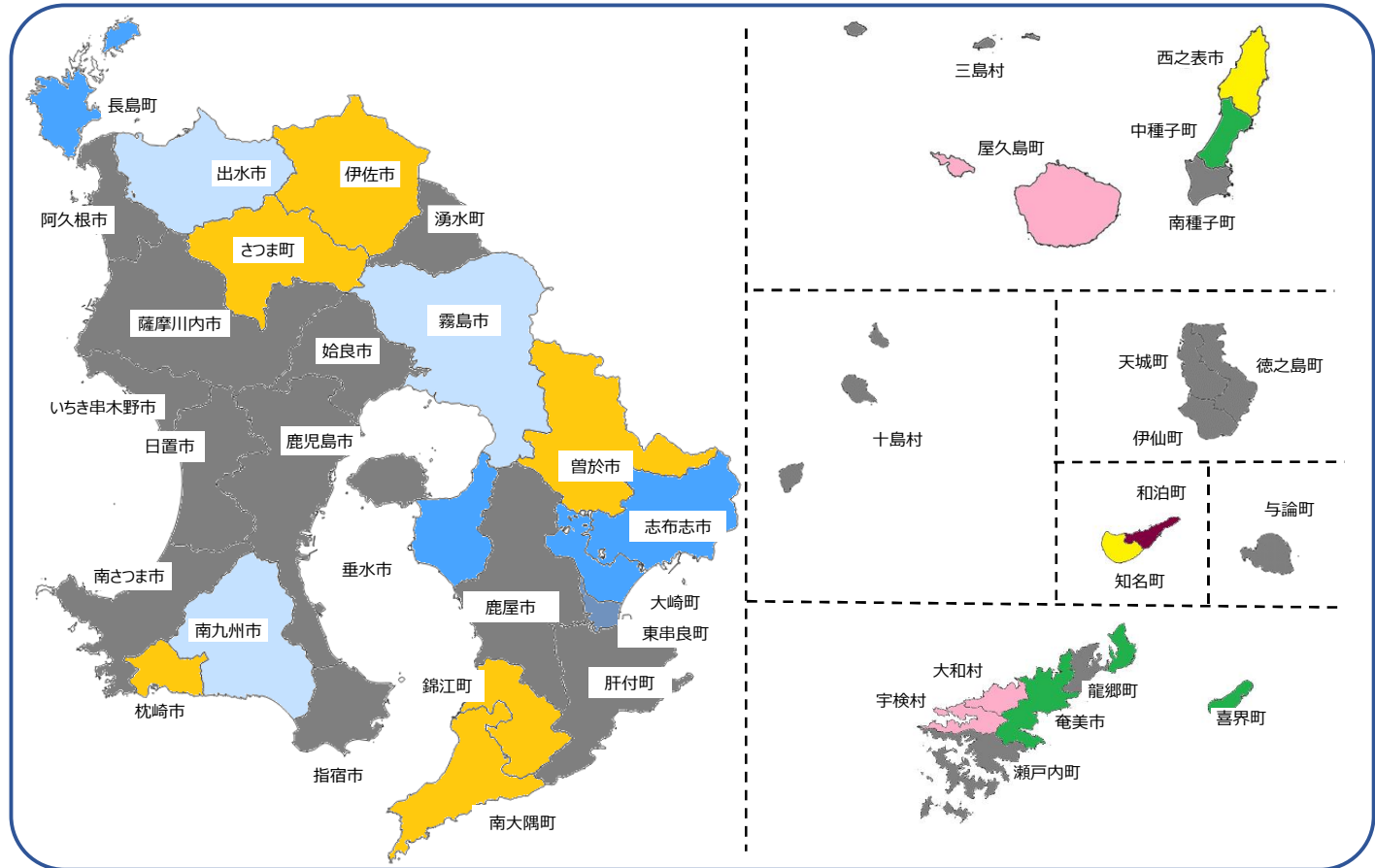
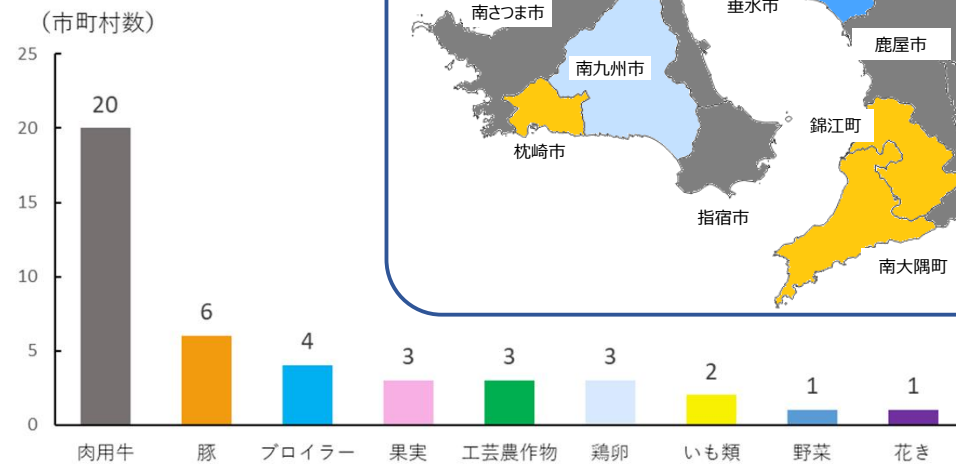
Instagram

資料：鹿児島県

The map shows Kagoshima Prefecture divided into several regions, each associated with a set of products:

- 北薩 (North Satsuma):**
  - ばれいしょ (Potatoes)
  - そらまめ (Edamame)
  - 実えんどう (Shelled peas)
  - 紅甘夏 (Red mikan)
  - きんかん (Kinokan)
  - マンゴー (Mango)
  - 大将季 (Daishouki)
  - かごしま茶 (Kagoshima tea)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)
  - かごしま黒豚 (Kagoshima black pig)
  - かごしま地鶏 (Kagoshima local chicken)
- 始良・伊佐 (Shirai・Iza):**
  - ごぼう (Gobou)
  - かごしま茶 (Kagoshima tea)
  - 米 (Rice)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)
  - かごしま黒豚 (Kagoshima black pig)
  - かごしま地鶏 (Kagoshima local chicken)
- 鹿児島 (Kagoshima):**
  - いちご (Strawberry)
  - こまつな (Komatsuna)
  - マンゴー (Mango)
  - 桜島小みかん (Sakurajima small mikan)
  - 大将季 (Daishouki)
  - かごしま茶 (Kagoshima tea)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)
  - かごしま黒豚 (Kagoshima black pig)
  - かごしま地鶏 (Kagoshima local chicken)
- 南薩 (Nansatsu):**
  - かぼちゃ (Kabocha)
  - そらまめ (Edamame)
  - 実えんどう (Shelled peas)
  - さつまいも (Sweet potato)
  - オクラ (Okra)
  - らっきょう (Rakkyo)
  - たんかん (Tankan)
  - きんかん (Kinokan)
  - マンゴー (Mango)
  - かごしま茶 (Kagoshima tea)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)
  - かごしま黒豚 (Kagoshima black pig)
  - かごしま地鶏 (Kagoshima local chicken)
  - 米 (Rice)
- 大隅 (Osumi):**
  - ピーマン (Pee-man)
  - きゅうり (Cucumber)
  - ばれいしょ (Potatoes)
  - ごぼう (Gobou)
  - スプレーギク (Spray giku)
  - マンゴー (Mango)
  - パッションフルーツ (Passion fruit)
  - かごしま茶 (Kagoshima tea)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)
  - かごしま黒豚 (Kagoshima black pig)
  - かごしま地鶏 (Kagoshima local chicken)
- 熊毛 (Kumamoto):**
  - レザーリーフファン (Leaf fan)
  - マンゴー (Mango)
  - たんかん (Tankan)
  - ブロッコリー (Broccoli)
  - かごしま茶 (Kagoshima tea)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)
- 大島 (Oshima):**
  - ばれいしょ (Potatoes)
  - ユリ (Lily)
  - パッションフルーツ (Passion fruit)
  - 鹿児島黒牛 (Kagoshima black cow)

○ 鹿児島県内各市町村の農業産出額 1 位部門の分布状況

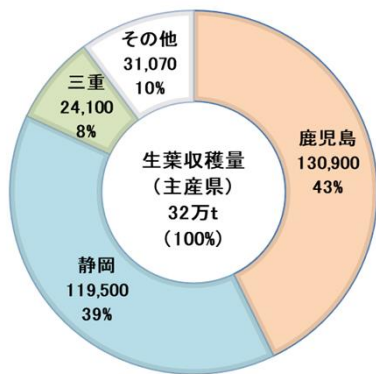


資料：「令和 4 年市町村別農業産出額（推計）」

# かごしま茶

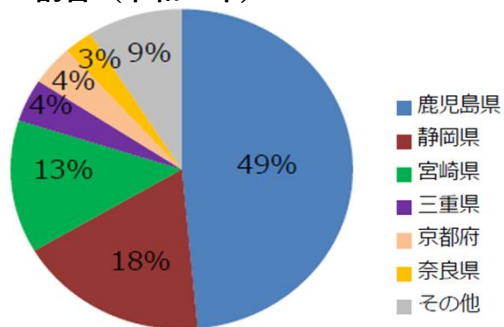
- お茶は、鹿児島県全域で栽培され、生葉収穫量は32万tで**全国1位**です。「やぶきた」をはじめ多様な品種を栽培し、幅広い消費者ニーズに対応した生産が行われており、経営の大規模化・法人化が進展しています。
- **全国トップクラスの有機栽培茶面積**であり、**欧米を中心に輸出が拡大**（令和元259トン→令和5年1,731トン）しています。

## 令和6年産茶（生葉）収穫量



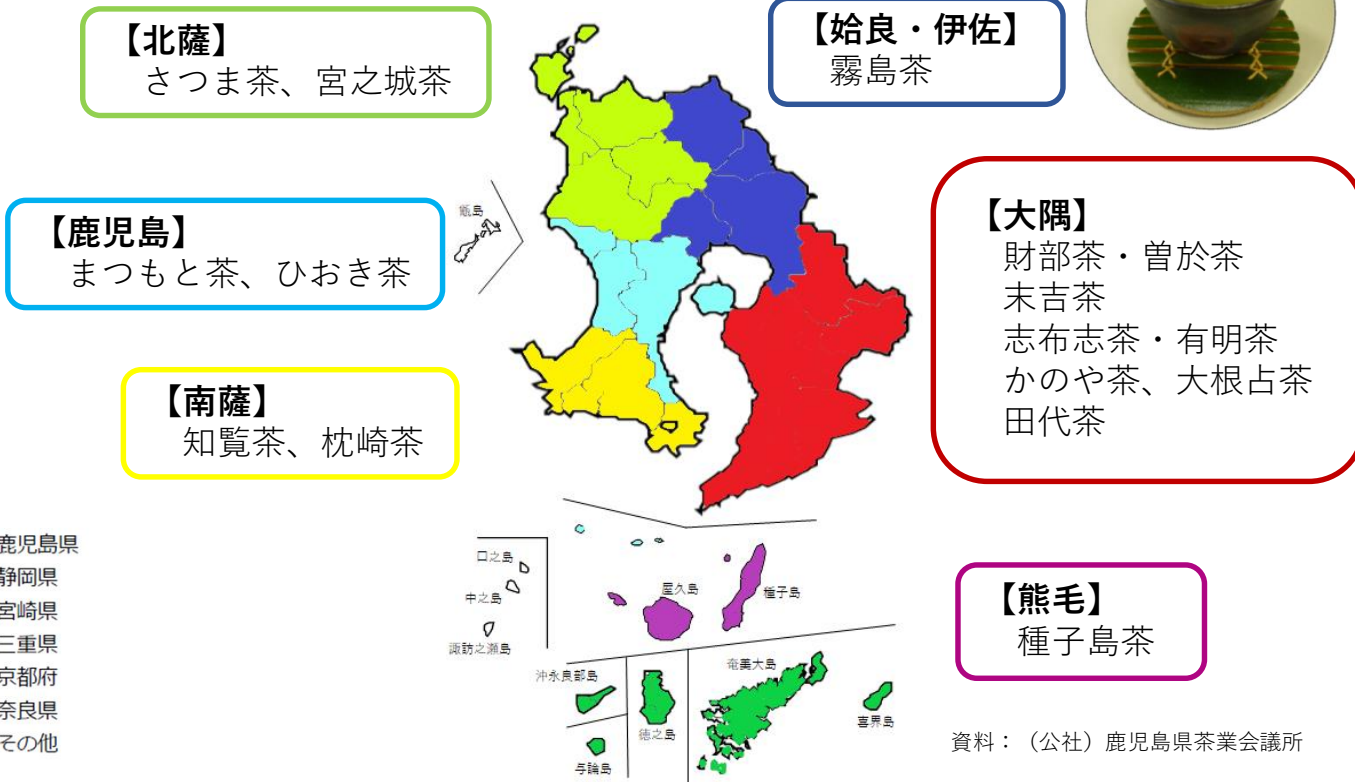
資料：令和6年産作物統計調査

## 有機JASほ場面積（茶畑）の割合（令和5年）



資料：茶をめぐる情勢（令和7年1月）

## 鹿児島県内の主な産地



資料：（公社）鹿児島県茶業会議所

- **農林水産省では、毎年度、  
農政の動向を整理した  
「食料・農業・農村白書」を公表しています。**
- **令和6年度の白書のトピックスから、  
主なものをご説明します。**

**まずは、**

**「食料・農業・農村基本法の改正」です。**

**この法律は、平成11年に制定されたものです。  
その後の国内外の情勢の変化等を踏まえ、  
令和6年6月に改正されました。**

**改正の主な背景について説明します。**

# (参考) 食料自給率の推移

食料自給率（カロリーベース）は、

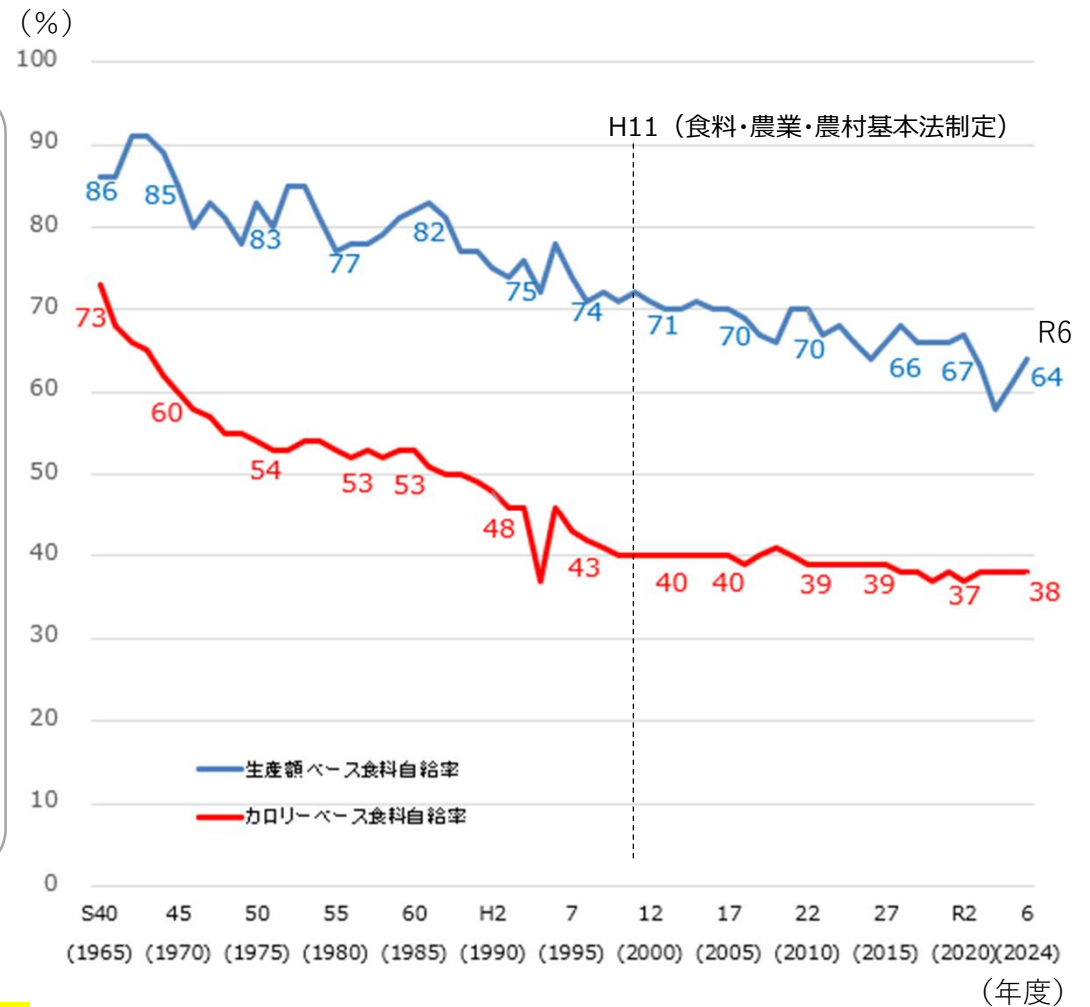
米中心の「日本型食生活」からパンや肉類等中心の「欧米型食生活」への変化の影響等により、昭和40年～平成10年頃にかけて低下してきたが、その後は、40%程度で推移。

- 食料自給率とは、国内の食料全体の供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標。
- 分子を国内生産、分母を国内消費仕向として計算。

## 食料自給率

$$= \frac{\text{国内生産}}{\text{国内消費仕向}}$$

$$= \frac{\text{国内生産 (輸出向けの生産を含む)}}{\text{国内生産(同上) + 輸入 - 輸出 ± 在庫増減}}$$



## (参考) 米の一人当たり年間消費量

S37年：118.3kg → R6年：53.4kg

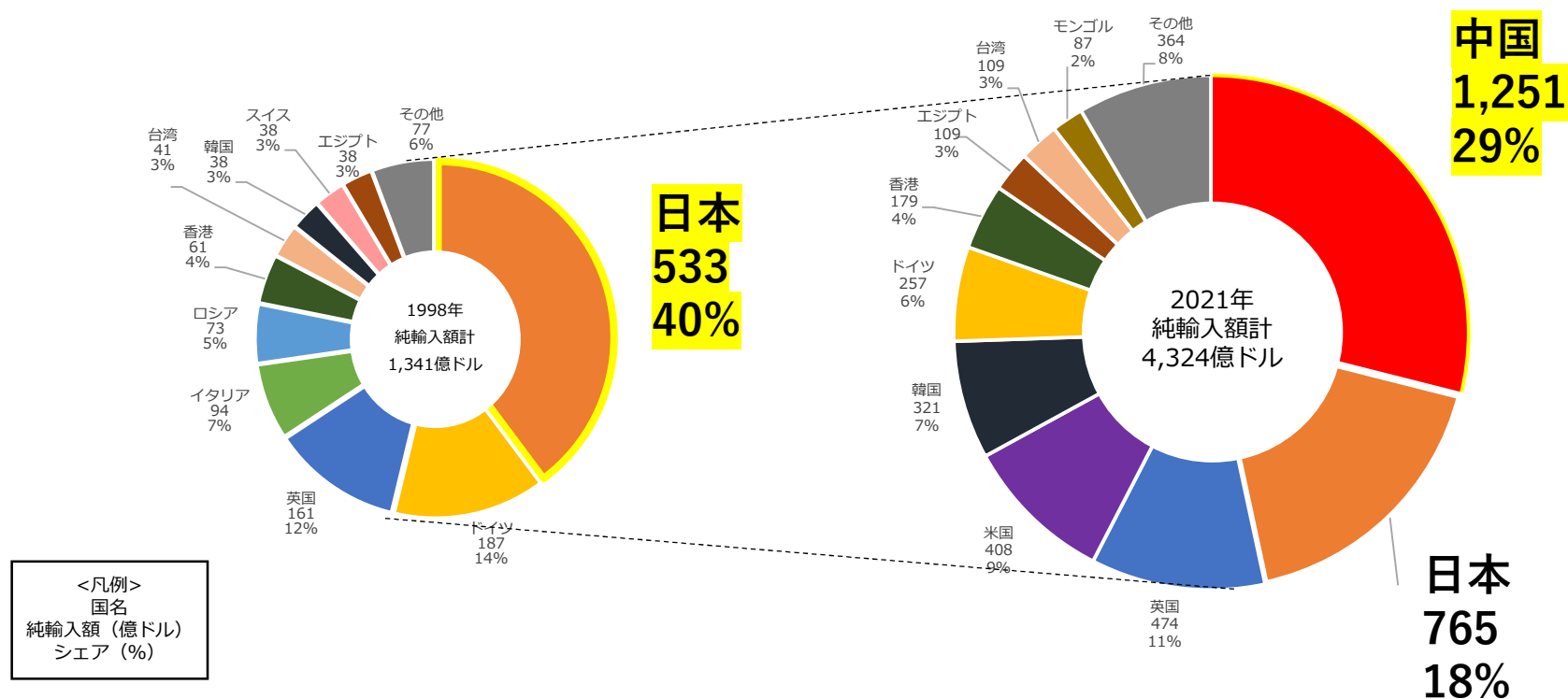
(茶わん約5.4杯/日) (茶わん約2.5杯/日)

資料：農林水産省「食料需給表」を基に作成

# 先々、日本の食料の調達に不安！

- ・ 1998年（平成10年）当時、日本は世界1位の農林水産物の純輸入国。
- ・ 近年、経済成長が著しい中国が輸入を増やし、プライスメーカー的な地位になりつつある中、日本がそれに左右されることとなる可能性。

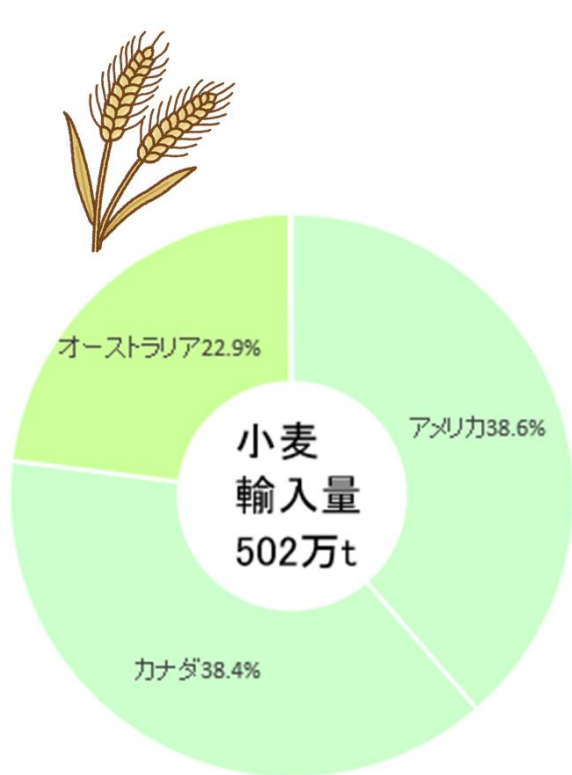
## 農林水産物純輸入額の国別割合



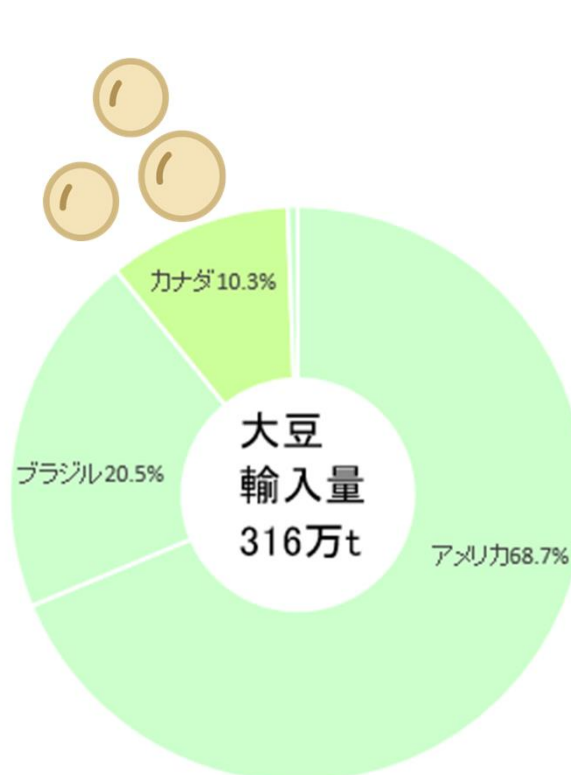
資料：「Global Trade Atlas」を基に農林水産省作成  
 注：経済規模とデータ制約を考慮して対象とした41か国のうち、純輸入額（輸入額-輸出額）がプラスとなった国の純輸入額から作成。

# 穀物の輸入依存度が高いです！

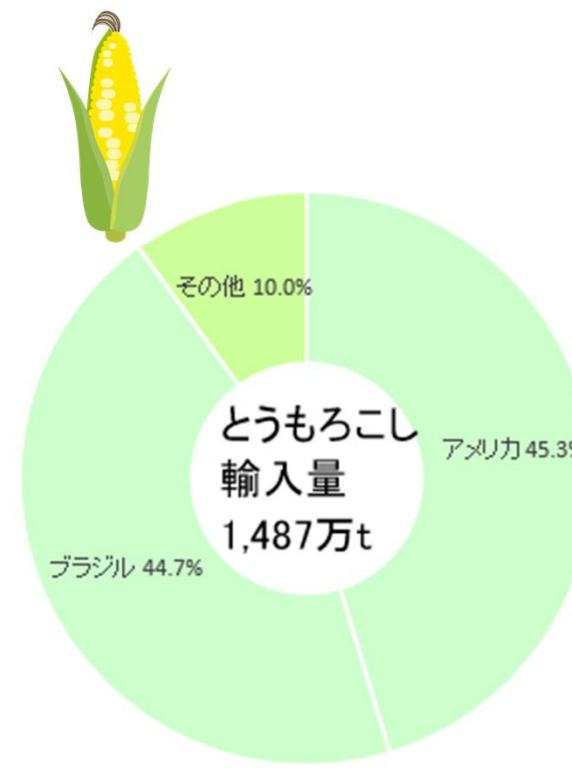
消費量約3,300万tのうち約2,300万t（約7割）を輸入  
国内生産の増大が必要！



資料：令和5年



資料：令和5年



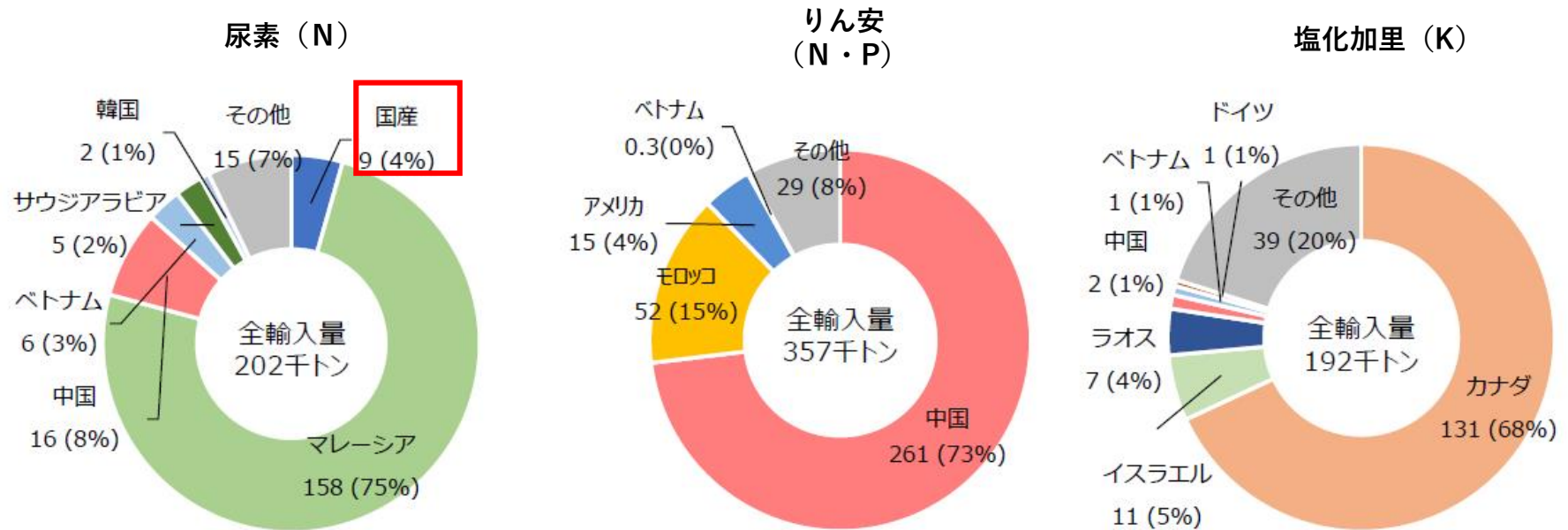
資料：令和5年



# 化学肥料・農薬の原料も海外からの輸入です！

化学肥料の主原料のほぼ全量を輸入  
国内資源への転換が必要！

R5 肥料年度（令和5年7月～令和6年6月）

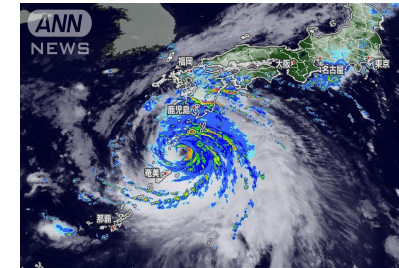


資料：農林水産省作成

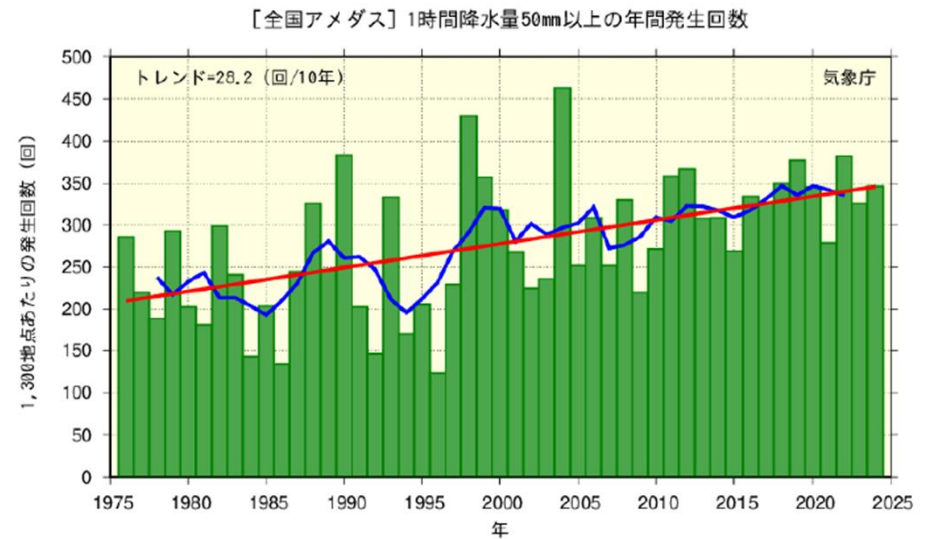
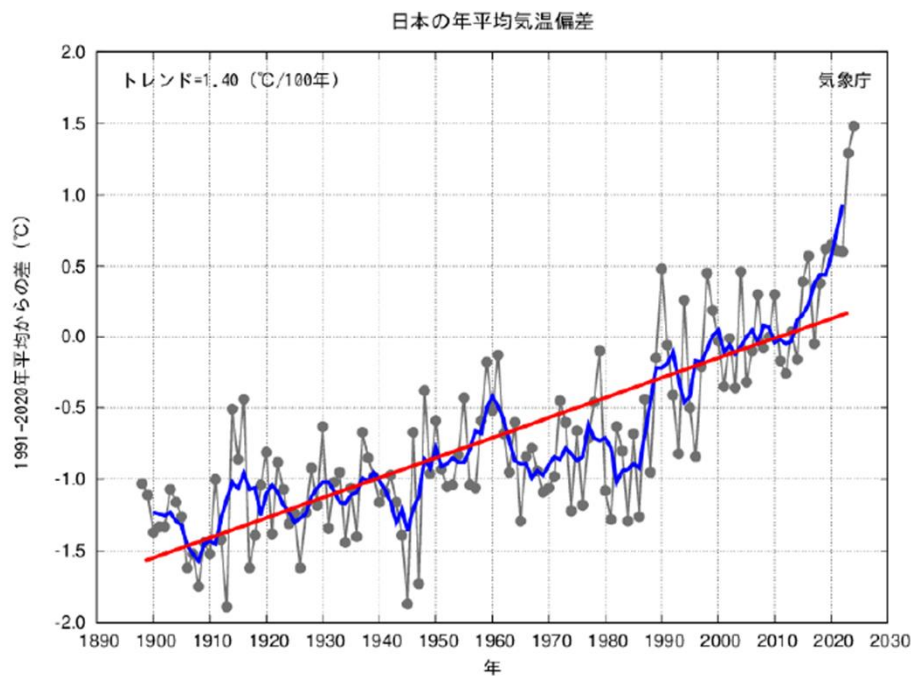


# 地球温暖化は社会的な問題です！

- 日本の平均気温は、100年あたり1.40°Cの割合で上昇
- 2024年の年平均気温は、  
統計を開始した1898年（明治31年）以降、最も高い値
- 集中豪雨の発生回数も増加傾向



台風10号（2024年）



- 全国各地での記録的な豪雨や台風等による被害が頻発
- 作物の収量減少・品質低下、漁獲量の減少など、国民の生活にも悪影響



九州北部豪雨 (2017年)



山形・秋田大雨  
(2024年)



熊本豪雨 (2020年)



河川氾濫によりネギ畑が冠水  
(2023年秋田県)

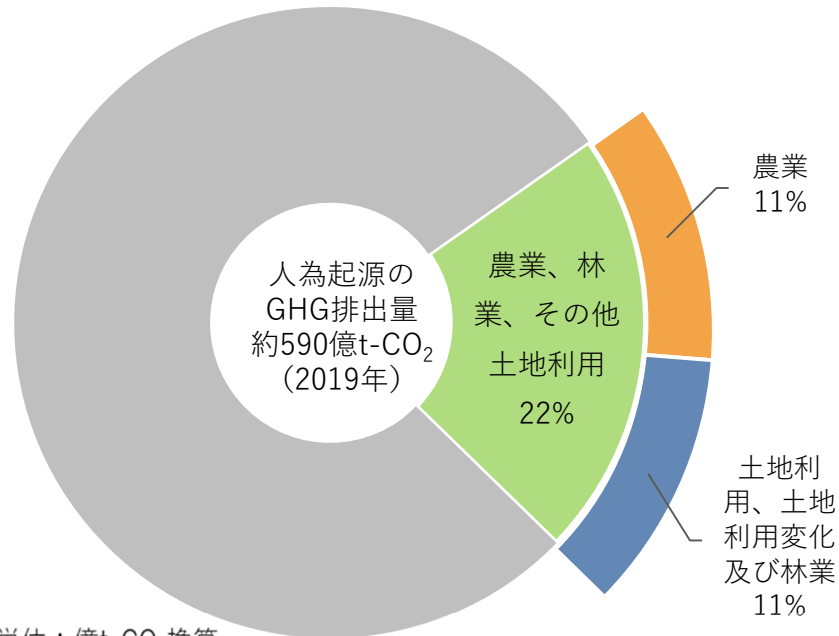


台風で被災したガラスハウス  
(2019年房総半島)

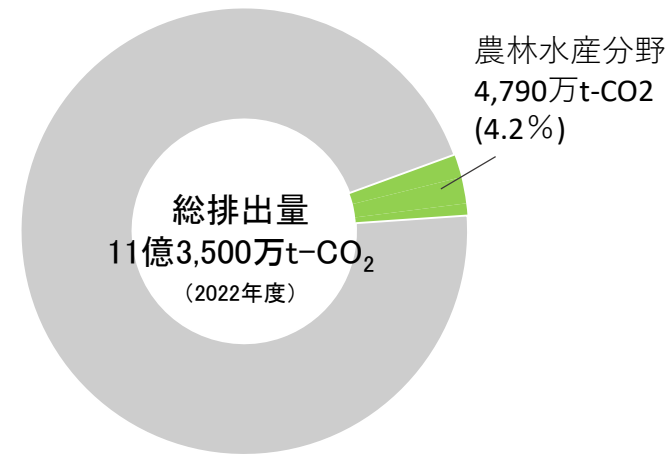
# 農業も環境に影響を与えています！

デジタル技術や国内資源の活用等により環境負荷を抑えることが必要！

世界（約590億 t）



日本（約11億 t）



スマート農業・農業DX

単位：億t-CO<sub>2</sub>換算

\*「農業」には、稲作、畜産、施肥などによる排出量が含まれるが、燃料燃焼による排出量は含まない。

出典：「IPCC第6次評価報告書第3作業部会報告書（2022年）」を基に農林水産省作成

出典：国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」を基に農林水産省作成



可変施肥  
ドローン  
ヒートポンプ  
など

主要国は、以前から、環境政策を進める戦略を策定し、実行しています！

EU

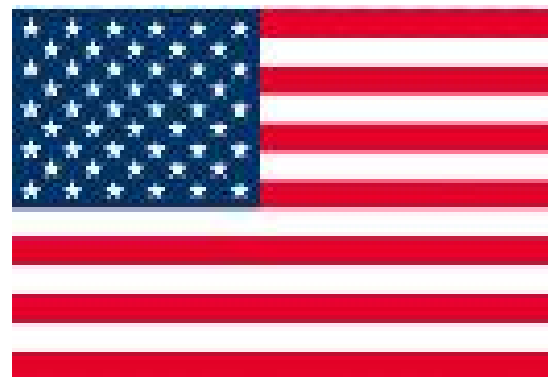


「Farm to Fork戦略」  
(2020.5)

2030年までに

- ・化学農薬の使用及びリスクを50%減
- ・有機農業を25%に拡大

USA



「農業イノベーションアジェンダ」  
(2020.2)

2050年までに

- ・農業生産量40%増加と  
環境フットプリント半減

(注) 環境フットプリントとは、人体の健康、生活の質、生態系など複数の環境影響領域を評価し、一定の算定基準で数値化する方法。

# 有機食品の国別の売り上げ額は、 アメリカが8兆円超、 ドイツが2兆円超、中国、フランスが1兆円超です！

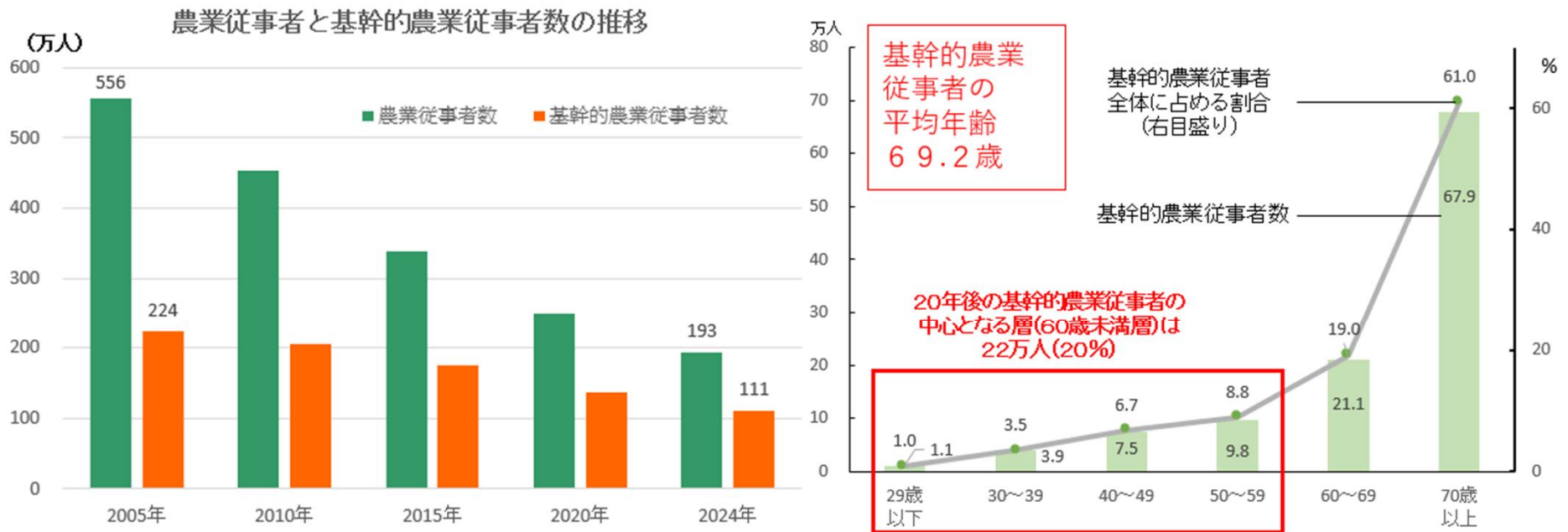
国別の有機食品売上額(2022年)



資料 : FiBL & IFOAM「The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024」を基に農林水産省農業環境対策課にて作成

# 基幹的農業従事者数の減少、高齢化への対応が急務！

- 我が国の人口減少・高齢化が進展する中で、  
農業従事者数は、2005年の約556万人から2024年には約193万人と大幅減。  
基幹的農業従事者数は、2005年の約224万人から2024年には約111万人と半減。
- 20年後の基幹的農業従事者の中心となることが想定される60歳未満層は、全体の約2割の20万人程度にとどまっており、農業の持続性を確保するための対応が必要。



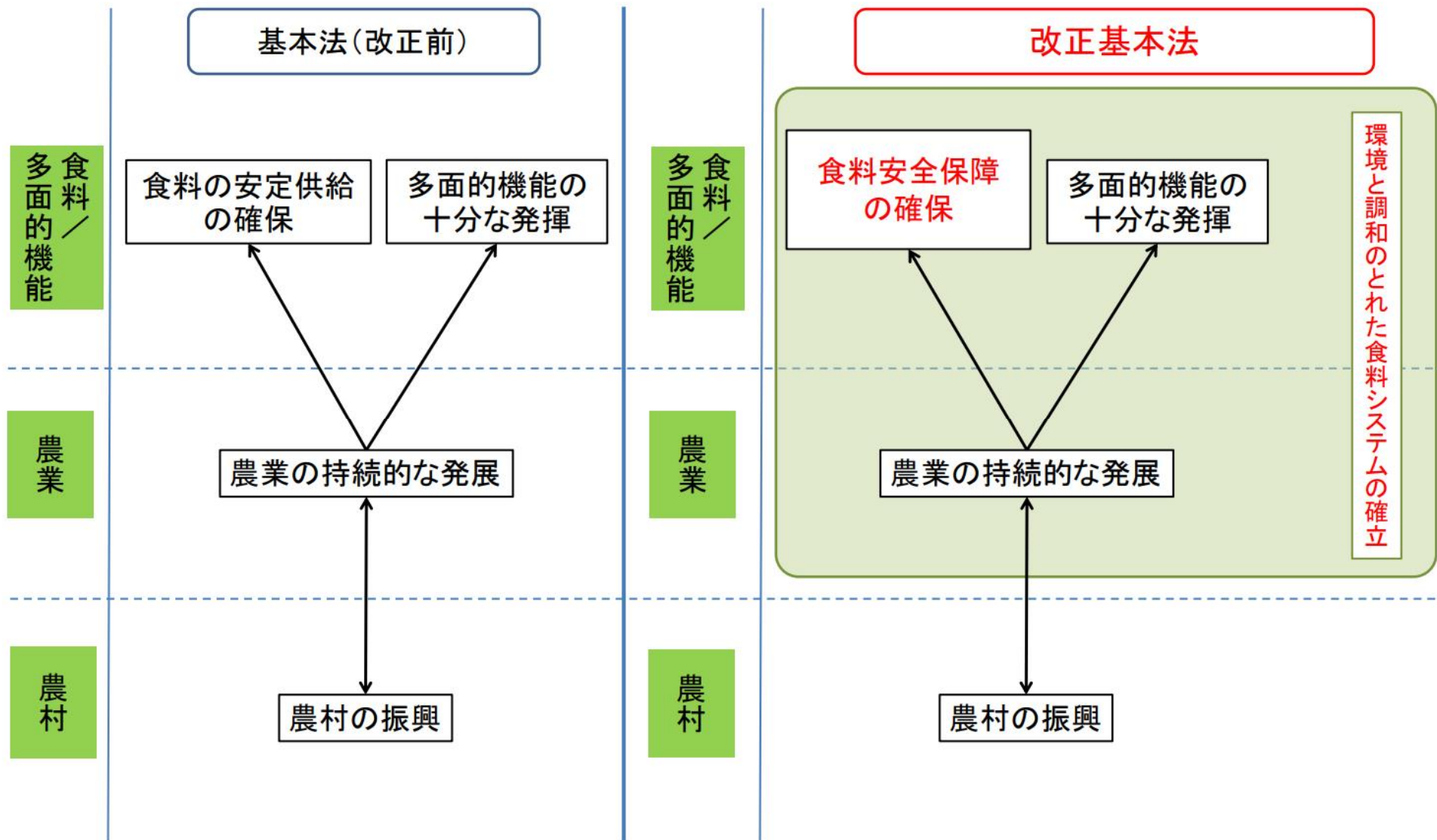
資料：  
 ・農林水産省「農林業センサス」（2024年のデータは農業構造動態調査結果）。  
 ・基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者（雇用者は含まない）。

資料：農林水産省「令和6年農業構造動態調査」を基に作成  
 注：1) 2024年2月1日時点の数値  
 2) 「基幹的農業従事者」は15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

**このように、今の日本の農業における課題は、**

- **穀物や資材の大宗を輸入に頼っており、国民の生活や農業の継続に不安。**
  - **国内生産の拡大や国内資源の活用が必要**
- **地球温暖化は社会的な問題。**
  - **農業分野でも、環境負荷低減の取組を積極的に行っていくことが必要**
- **日本の農業は、高齢農家が支えており、将来の国民への食料の安定供給に不安。**
  - **農業に参入しやすい環境にするとともに、参入する者を増やしていくことが必要**

# 改正食料・農業・農村基本法の基本理念



→ 令和7年4月11日に、新たな「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定

# 改正食料・農業・農村基本法のポイント

(令和6年6月5日に公布・施行)

## 見直しの4つの方向

世界人口の増加や食料生産の不安定化によって、いつでも、安く、食料が手に入る時代ではなくなる!?

### 1. 国民の皆さんに食料を届ける力の強化

- 不測時だけでなく、国民一人一人に食料が行き届くよう、**平時から、食料安全保障**に向けて取り組む。
- 国内農業生産を増大**しつつ、輸入の安定確保や備蓄の有効活用などにより、**安定した食料供給**を図る。
- 食料品店の減少やラストワンマイル問題などにより、食料品の入手に困難が生じないように、**食料を届ける力**を整える。
- 輸出を応援**し、農業・食品産業の維持・発展を目指す。
- 農産物等について、**消費者の理解**を得ながら、食料システム全体の中で**合理的な価格形成**を行うための仕組みを構築する。

将来にわたって農業・食品産業を持続するために必要なことは?

### 2. 次世代へつなぐ、環境にやさしい農業・食品産業への転換

- 環境にやさしい持続可能な農業を展開するため、**有機農業など**を全国に広める。
- 生産、加工、流通、小売といった**食の関係者全員で、温室効果ガスの削減や食品ロス削減**などを目指す。

農業生産を維持するためにどうする？ 20年後には農業者が現在の1/4程度になる!?

### 3. 新たな技術も活用した、生産性の高い農業経営

- 生産性の高い農業ができるよう、**農地の集積・集約化など**環境を整備。
- スマート農業をはじめとした**新技術や新品種の導入**などにより、更なる生産性の向上を目指す。

農村を元気にするために何が出来る？ 農村の地域社会が維持できなくなる!?

### 4. 農村・農業に関わる人を増やし、農村や農業インフラを維持

- 農業者、非農業者にかかわらず、**新たな就業機会を確保**するための取り組みを進める。
- 農業インフラについて、**ICT導入やDXの取組等による作業の効率化**を進める。
- 用排水路などを管理しやすいものに整備**し、保全管理しやすくする。
- 人手不足な状況においても、農業者以外の参画を促進し、**農業インフラを地域全体で維持管理**していく取組を進める。

食料・農業・農村基本法  
ホームページ



**次は、**

**基本法の改正により、  
新たに政策の柱に追加された、  
「環境と調和のとれた食料システムの確立」  
について説明します。**

# 地球温暖化等の課題に対応するため、2050年を目標に、「みどりの食料システム戦略」を策定しました！

(令和3年5月)

## 令和4年に、「みどりの食料システム法」を施行！

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
  - (注) CO2ゼロエミッション化とは、2050年までに化石燃料起源のCO2排出量をゼロにすること。
- **化学農薬の使用量 (リスク換算) を50%低減**
- **輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減**
- **耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大**

### 経済



#### 持続的な産業基盤の構築

- ・**輸入から国内生産への転換**  
(肥料・飼料・原料調達)
- ・国産品の評価向上による輸出拡大  
など

### 社会



#### 国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大

- ・生産者・消費者が連携した  
**健康的な日本型食生活**
- ・地域資源を活かした地域経済循環  
など

### 環境



#### 将来にわたり安心して 暮らせる地球環境の継承

- ・**環境と調和した食料・農林水産業**
- ・化石燃料からの切替による  
カーボンニュートラルへの貢献  
など

# 鹿児島県も「みどり食料システム法」の下、環境負荷の低減に関する目標を策定しています！

## 【みどりの食料システムの実現に向けた指標】

化学農薬の使用量の減少 34kg/ha ⇒ 31kg/ha (R12)

化学肥料の使用量の減少 272kg/ha ⇒ 218kg/ha(R12)

有機農業取組面積の拡大 999ha ⇒ 2,000ha(R13)

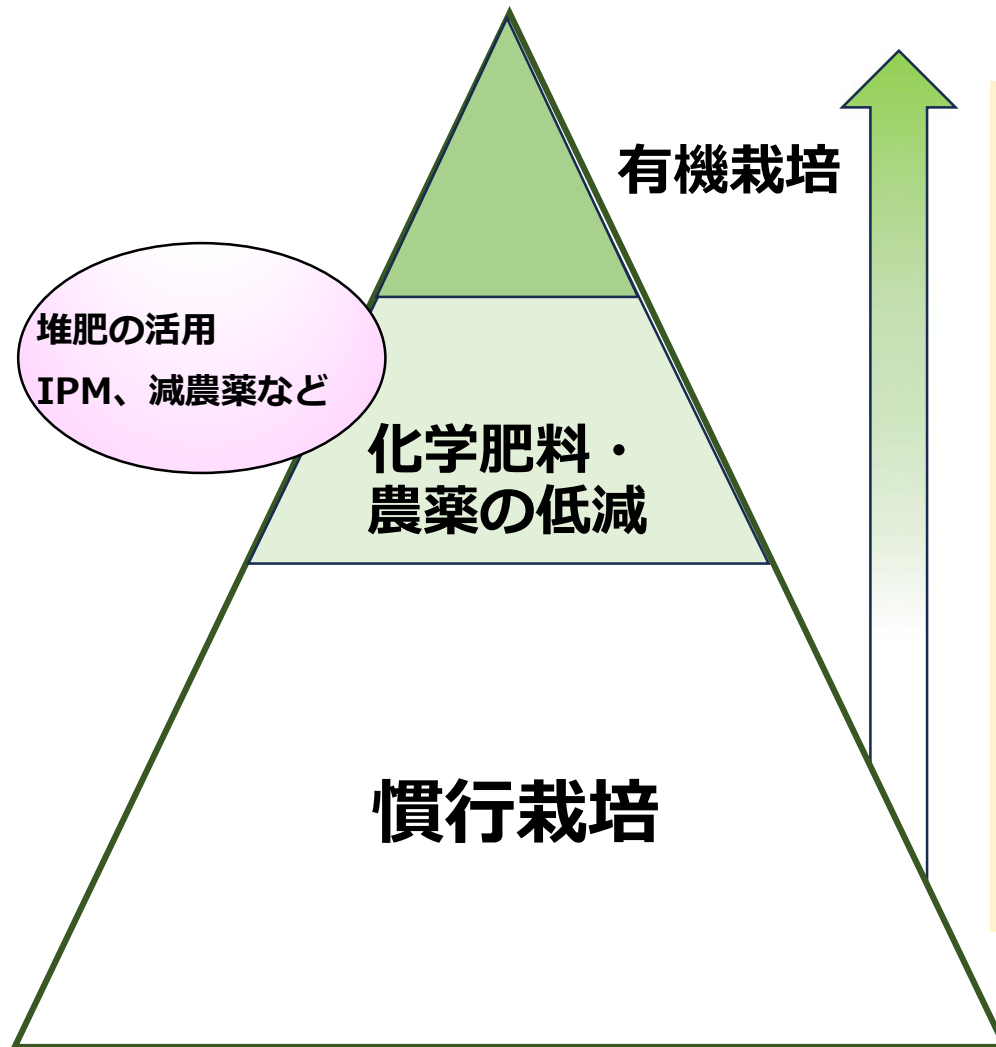
(有機JAS認証取得割合) (80%) (90%)

バイオマス利用拡大 88% ⇒ 96%(R7)

産業部門における温室効果ガスの排出量の減少

2,388千トンCO<sub>2</sub> ⇒ 1,308千トンCO<sub>2</sub>(R12)

# 栽培方法の転換の考え方（イメージ）



- ・ みどりの食料システム戦略では、化学肥料・農薬の使用量の低減、有機農業の拡大を推進。
- ・ **環境負荷低減**に取り組みつつも、**農業所得を十分に確保し、農業経営を継続**できることが大切。
- ・ **地域の風土、作物の特性**なども踏まえ、まずは、**できることから始める**ことが適当。

# (参考) 堆肥等の地域資源を活用した肥料 (鹿児島市：JA鹿児島県経済連)

JA鹿児島県経済連は、化学肥料の原料価格高騰に対応するため、  
畜産堆肥を活用した低コスト肥料（堆肥と化学肥料を混合したペレット肥料）  
を開発  
主に、茶用、園芸用として販売



(株) JA物流かごしま 肥料工場



ミドリッチ茶1号、ミドリッチ茶2号、アグリッチ888

# (参考) 下水汚泥の利用 (鹿児島市水道局下水汚泥堆肥化場)

下水汚泥を利用した肥料を開発  
年間約1万トンの製造・販売



下水汚泥発酵肥料「サツマソイル」



発酵中の堆肥

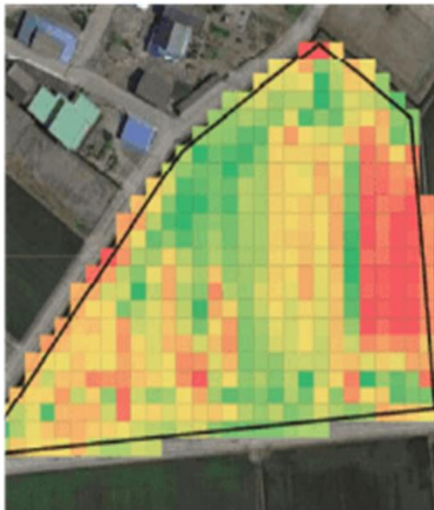


完成した堆肥

# (参考) 衛星データを活用した可変施肥の実証 (さつま町：鹿児島県×ザルビオ)

ザルビオの衛星とセンシングデータを活用し、土壌や生育状況に応じて、必要な場所に必要な量だけ施肥  
これにより、化学肥料の使用量が減

実際の収量データマップ



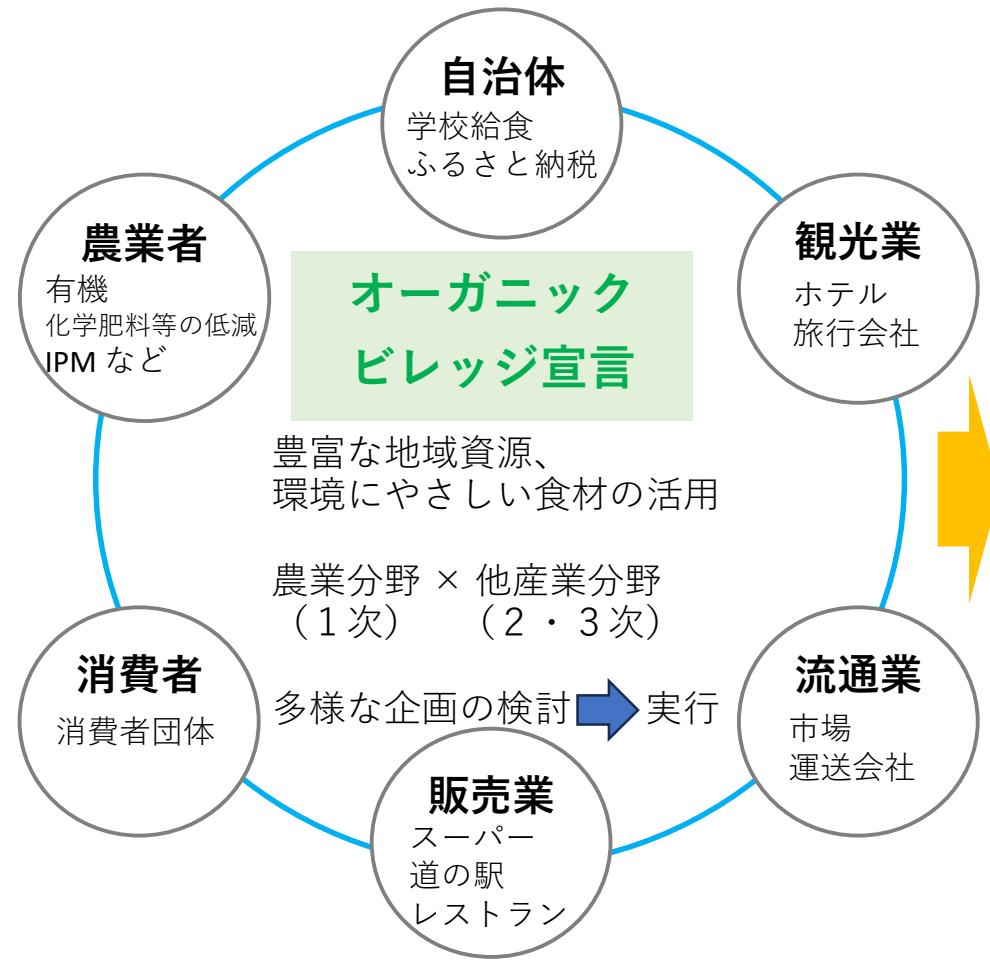
地力マップが示す地力



土壌等の状況に応じて適量の肥料を投入

# オーガニックをテーマに、 地域資源をフル活用し、鹿児島を盛り上げる！

- ・ 鹿児島には、自然、農産物等の地域資源が豊富
- ・ 各産業の関係者がコンソーシアムを組成し、「オーガニックビレッジ宣言」
- ・ 各産業分野が連携し、オーガニックをテーマとした各種イベントを企画
- ・ 農林水産省が政策等で後押し



あいがもロボット

有機農業の拡大

スーパーでの販売

JAPANESE ORGANIC SUPPORTERS

有機焼酎

観光ルートへの確立

ホテルでのイベント

学校給食での地場食材の活用 (日本型食生活)

直売所・道の駅での販売

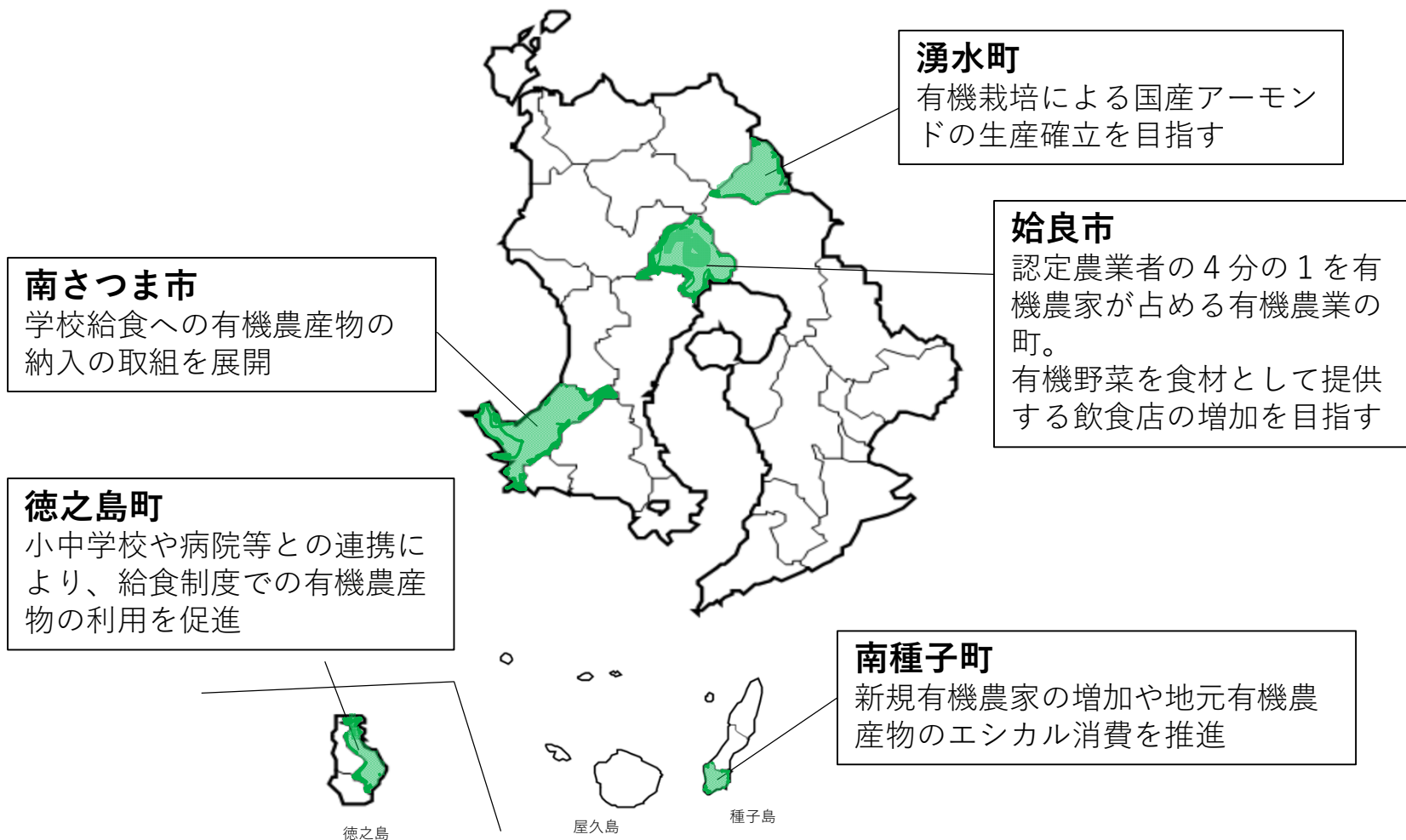
鹿児島・産業の持続的な発展

海外・国内の観光客  
年間約2,000万人\*

※R6年「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計（「鹿児島県観光統計」から引用）

# 「オーガニックビレッジ」に取り組んでいる鹿児島県の自治体

※「オーガニックビレッジ」とは、みどりの食料システム戦略推進交付金（有機農業産地づくり推進（緊急）事業）を活用し、有機農業の産地づくり等に取り組んでいる自治体。



※令和7年2月7日時点で、**鹿児島県は5市町**

# (参考) 環境にやさしい農産物の表示

## 有機JAS



農薬や化学肥料などの化学物質に頼らない  
ことを基本として自然界の力で生産された食品

## IPM (総合的病害虫・雑草管理)



「かごしまのIPM」PRキャラクター  
「チーム・マモット」

化学合成農薬の代わりに、てんとう虫のような益虫  
(えきちゅう：天敵のこと) などを使って害虫を退治



# K-GAP（かごしまの農林水産物認証制度）



鹿児島県が、安心・安全な農林水産物を生産するために  
取り組むべきことを定め、それに沿って生産



# (参考) 組合で有機農業 (鹿児島市：かごしま有機生産組合)

生産農業者数 約165名  
うちJAS有機認証済 約100名



有機農産物の直営店（「地球畑」）



有機JAS法に対応した育苗（始良市）



有機JAS認証の自社工場で加工品を製造

かごしま有機生産組合のホームページ

<https://kofa.jp/>

# (参考) 有機栽培の桑葉で6次産業化 (始良市：株式会社わくわく園)

「消えゆく桑の葉に再び光を」、  
「食べるものが体を作る」の考えで、  
有機栽培による桑葉の生産



有機JAS認定圃場（桑葉）



有機JAS認証工場で桑茶などを製造  
(自社完結型ビジネスモデル)



観光地の売店でも販売

株式会社わくわく園のホームページ <http://wakuwakuen.co.jp/>

# (参考) IPM農法によるオクラの生産 (指宿市：JAいぶすきエコオクラグループ)

天敵昆虫等を活用し、  
化学農薬の使用量を減

会員23名 栽培面積6.4ha



ハウス栽培オクラ

露地栽培オクラ



生育中のオクラと花

- ・ オクラ畑の周りにバンカー植物（ソルゴー）を栽培。
- ・ ソルゴーには、オクラに害のないアブラムシが発生。そこに益虫のテントウムシ等呼び込む。
- ・ そして、テントウムシ等がオクラに繁殖したアブラムシも食べる。

<オクラ>

<ソルゴー>



ヒメカメノコテントウ

VS



アブラムシ

# (参考) IPM農法によるピーマンの生産 (志布志市：JAそお鹿児島島ピーマン部会)

天敵昆虫等を活用し、  
化学農薬の使用量を減

会員100名 栽培面積28ha



ヒメカメノコテントウ

VS



ヒエノアブラムシ

生育中のピーマン

# (参考) JGAPを取得し、減農薬栽培 (薩摩川内市：有限会社松田農場)

金柑では、日本初の「JGAP」を2013年に取得  
有機肥料を活用しつつ、減農薬栽培を実施



# (参考) ナノファイバーで減農薬 (薩摩川内市：須賀農園)

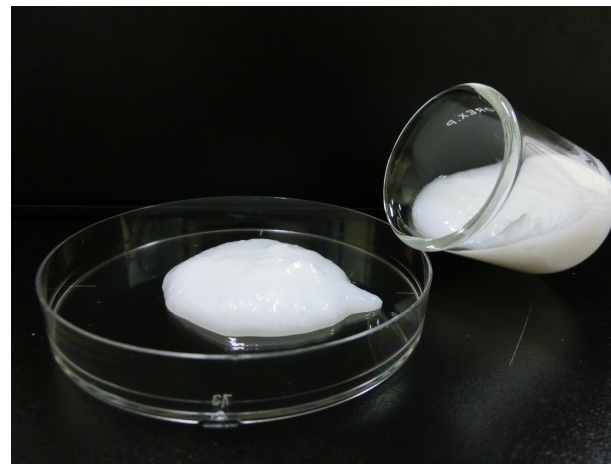
中越パルプが開発したセルロースナノファイバー（竹の抽出液で細菌等の侵入を防ぐ効果がある）を用いた物理的防除により、化学農薬の使用低減に寄与



ハウス内の鉢植えアジサイ



栽培中のラナンキュラス



ナノファイバー

# (参考) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」

- 化学肥料・化学農薬の使用低減などの栽培情報を用いて、温室効果ガス削減への貢献の度合いを、星の数で表示。

(米の場合の例)

## 生物多様性保全への配慮

<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の 不使用	2点
化学農薬・化学肥料の 低減 (5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点1点  
★★ : // 2点  
★★★ : // 3点以上

見る × 選べる  
≡  
みえるらべる

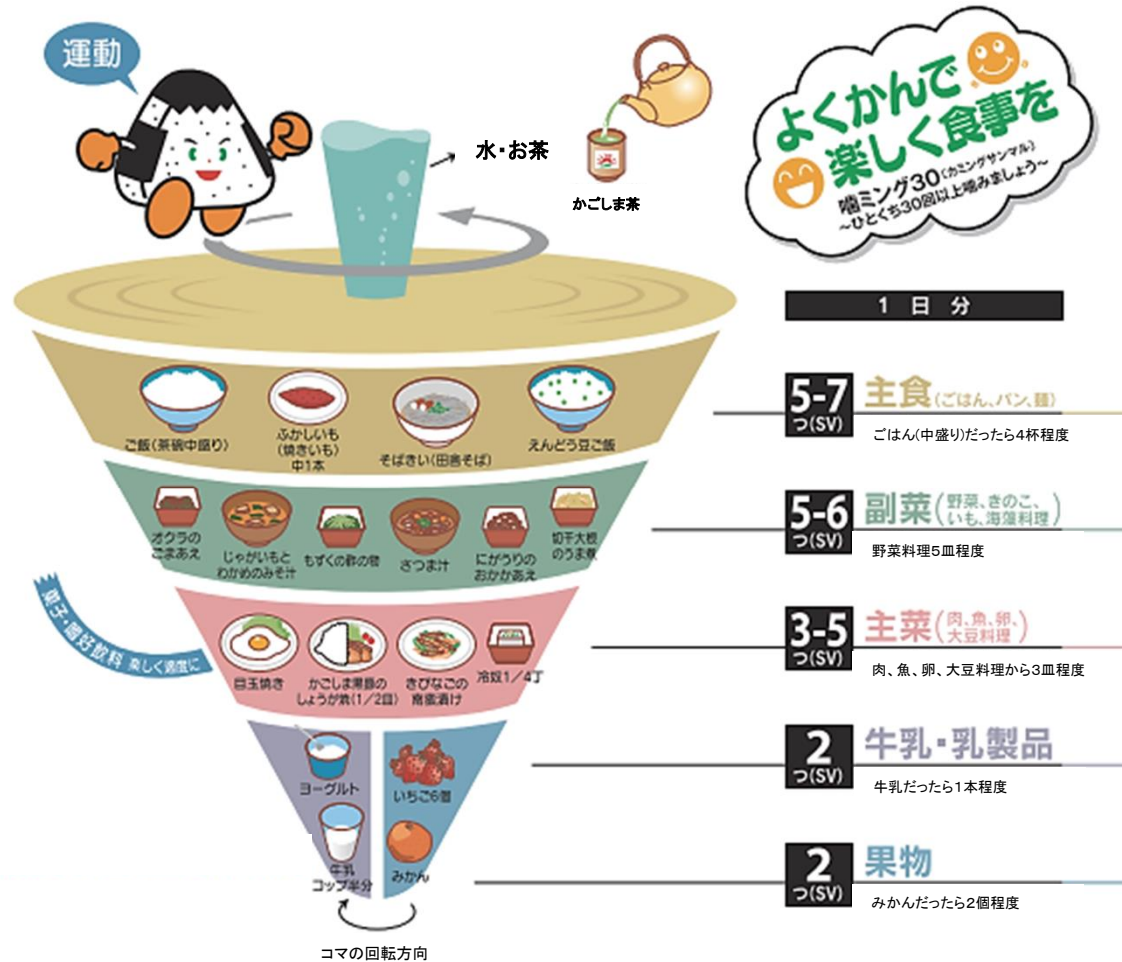


【鹿児島市の店舗の様子】



**バランスの良い食生活や  
地産地消も、大切！**

主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5つのグループ  
まんべんなく、コマの形になるように（上の方にあるグループ  
ほどしっかり）食べると、食事バランスはOK！



写真提供：鹿児島県栄養士会

### 食事バランスガイド (かごしま版)

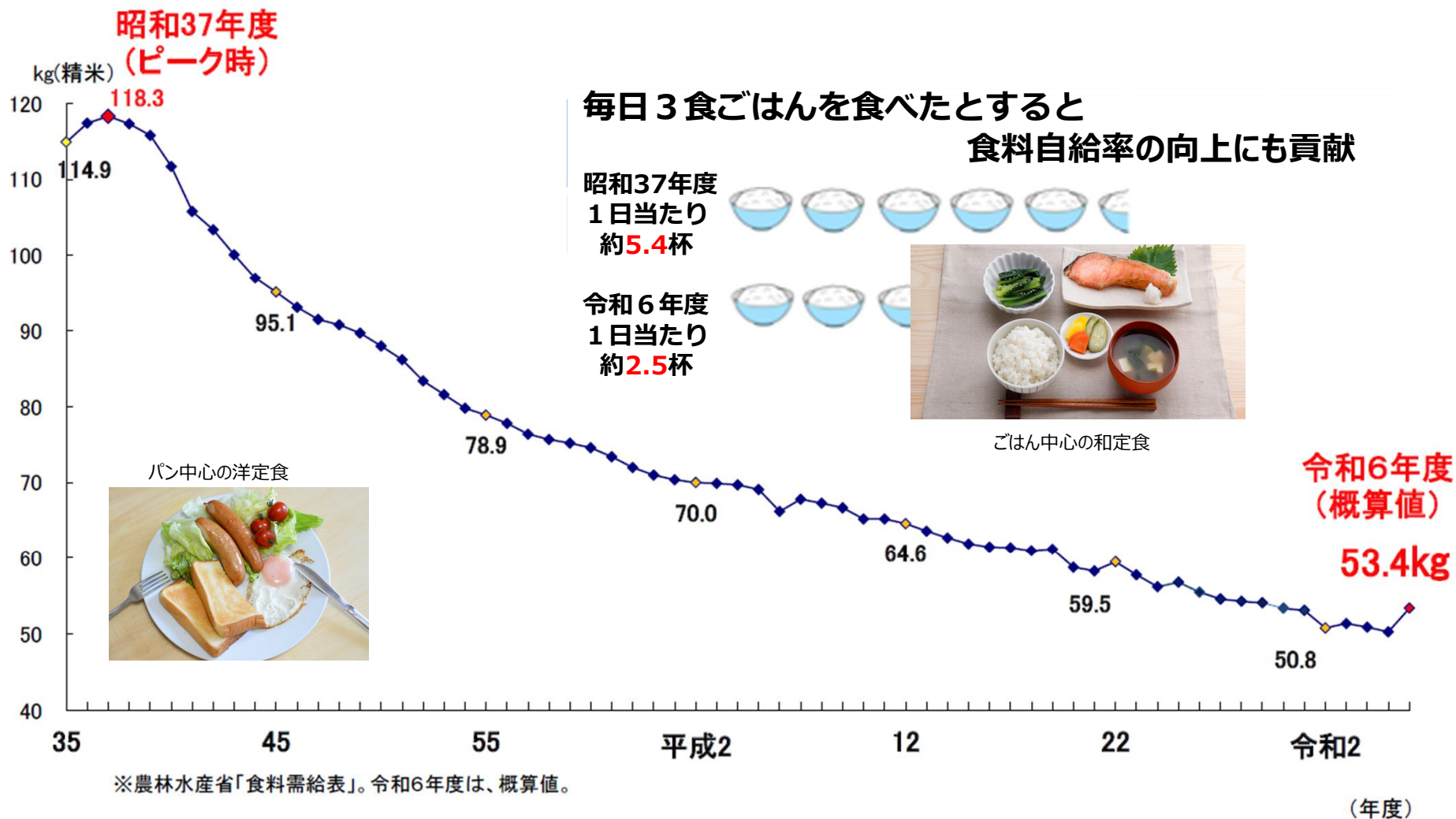
料理例など  
詳しく知りたい方は、  
こちらから



資料：鹿児島県



# 1人当たりの米の消費量は、ピーク時の半分以下！ 米を中心とした日本型食生活も必要！



# 地産地消・・・消費者も安心して食料を調達。 農業者も売り先がはっきりして、安心！



学校給食

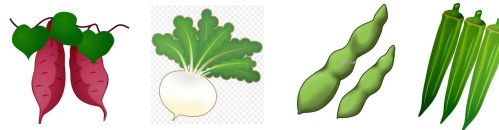
県内産の食材や地場産の有機野菜を活用



写真提供：始良市



スーパー、直売所など



鹿児島県産農産物



家庭での食事

# **みどりの食料システムの実現に向けた 九州農政局鹿児島県拠点の取組**

# 環境にやさしい農産物などを使用した料理教室

消費者に、環境にやさしい農業を知ってもらう、有機食材による郷土料理を作って食べてもらう、食育セミナーで日本型食生活の必要性を理解してもらい、地元の食材を食べることを習慣に！

## 【6月21日（土）】

有機野菜やIPMオクラなどの環境にやさしい農産物、暑さに強く品質が低下しにくい米として開発された「あきの舞」のほか、地産地消も意識して、ジビエ肉（鹿・猪）を使用。



鹿肉のスペアリブ・猪肉の味噌漬けにIPMオクラを添えて

## 【9月27日（土）】

かごしまブランドの農畜産物や有機野菜、有機調味料、喜界島産の有機黒糖などを使用。



有機黒糖をかけた甘酒ヨーグルトアイス

# 環境にやさしい農産物のPR販売

スーパーなどの店頭で、消費者に対して、環境にやさしい農産物の価値を直接伝える！  
(12月8日は有機農業の日)

## 【7月27日(日)】

JAいぶすきオクラ部会とのコラボ企画により、Aコープいしき店において、**IPM栽培オクラのPR販売**を実施。  
「オクラの浅漬け」の試食も実施。



(PR販売の様子)



(オクラの浅漬け)

## 【12月6日(土)～7日(日)】

(12月8日は、有機農業の日)

イオンモール鹿児島において、**有機野菜のPR販売**を実施。環境負荷低減の見える化の「みえるらべる」を表示した**白ネギのPR販売**も実施。



(PR販売の様子)



(「みえるらべる」の白ネギ)

## <今後のPR販売の予定>

○ 2/7(土)～8(日)

場所：ニシムタ(鴨池店、谷山店)

九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/070727.html>

# オーガニック・地産地消等ツアールート

「自然」×「産業」×「有機食材等」➡ 鹿児島島の付加価値向上！

鹿児島県の魅力を、県民、県外や海外からの観光客に披露し、おもてなしのヒントとしていただくため、7つのルートを作成。

ルートのQRコードはこちら



【お問い合わせ先】  
九州農政局鹿児島県拠点  
電話099-222-5840

九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

[https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/Introduction to the course in the southern Satsuma area.html](https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/Introduction%20to%20the%20course%20in%20the%20southern%20Satsuma%20area.html)

### 鹿児島県のオーガニック・地産地消等ツアールート (錦江湾一周)

**③ 龍門滝**

**④ 蒲生の大木**

**⑤ 蒲生物産館くすくす館**  
住所：鹿児島市蒲生町上久保2539-1  
メモ：有機農産物の採り、お弁当・お惣菜・加工品等を販売 営業時間 9時~18時 定休日 年未年迄 (12月31日~1月3日) ☎0995-54-3099

**⑥ 白金酒造株式会社 石蔵ミュージアム**  
住所：鹿児島県始良市藤元1933  
メモ：景観の購入や階建ての製造見学可(要予約) ☎0995-67-1496 (受付時間 10:00~17:00/水曜定休)

**⑦ 地球畑荒田店・地球畑カフェ「草原をわたる船」**  
住所：鹿児島市下宿田3-17-1  
メモ：(有)かこしま有機生産組合の直営店 荒田店：10:30~19:00 ☎099-812-0668  
カフェ：ランチ11時~15時(ラストオーダー14時半) カフェ14時半~16時半(ラストオーダー16時) 定休日 毎週月曜日

**④ 森のかぞく 始良店**  
住所：始良市東新田399-11  
メモ：そのやま農園と協力農家の有機野菜、加工品、お弁当やお惣菜を販売するオーガニックショップ 営業時間 10時~17時 定休日：月曜日 ☎0995-55-1685

**③ 園分物産館じょうもん市場**  
住所：鹿児島県霧島市国分中央五丁目3番10号  
メモ：地元の農産物や農産加工品、郷土のお菓子、弁当、工芸品、雑貨、木や花の苗などを販売 定休日1/1~1/5 ☎0995-45-3322

**② 上野原縄文の森**

**② 黒群ガーデン壺畑ショップ&レストラン**  
住所：霧島市福山町福山3075  
メモ：江戸時代から続く伝統製法で造られた坂元のくろずを愛用した体にやさしい料理を堪能。『くろず新隊』や『鶴舞澤鐘』などのお食事、ショップ、見学可能。休日：12/31~1/1 ☎0995-54-7200 [情報誌] 9:00~17:00 [レストラン] 10:00~17:00

**① 道の駅「桜島」火の島めぐみ館**  
住所：鹿児島市桜島福山町1722-48  
メモ：桜島小みかん、桜島大根など、地元ならではの農産物がいっぱい。 ☎099-245-2011  
物産直売所：毎月第3月曜日※祭日の場合翌日  
レストラン 毎週月曜日※祭日の場合翌日

#### モデルコース

- 鹿児島市内
- 桜島フェリー(15分)
- ①道の駅「桜島」火の島めぐみ館
- ②黒群ガーデン壺畑ショップ&レストラン
- ③園分物産館じょうもん市場
- ④森のかぞく始良店
- ⑤蒲生物産館くすくす館
- ⑥：白金酒造株式会社 石蔵ミュージアム
- ⑦地球畑荒田店・地球畑カフェ「草原をわたる船」

# みどり戦略学生チャレンジ

【第1回の鹿児島県内の受賞校】

## 大臣官房長賞

- ・鹿児島工業高等専門学校
- 新規下水汚泥肥料を用いた茶栽培試験

## 九州農政局長賞

- ・鹿児島工業高等専門学校
- 果樹剪定枝を用いたきのこ栽培技術の開発

## 九州みどりチャレンジ賞

- ・鹿児島工業高等専門学校
- 慢性腎臓病患者のための低カリウムきのこの栽培技術の開発
- ・鹿児島県立種子島高等学校
- 肉牛飼育におけるペーパーシュレッダーダストの敷料利用および堆肥化に関する研究

第2回 みどりの挑戦者たち!

サステナブルなキミの取組を全国へ

近年、気候変動による被害が各地で発生しています。また、農村における働き手の高齢化や担い手不足も深刻です。このような背景を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、環境にやさしく、かつ生産性の高い、持続可能な食料・農林水産業の実現をめざし、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。2050年に日本を担う学生の皆さんは、まさにみどり戦略の主演。日本の食料・農林水産業をリードするために、環境にやさしい取組にチャレンジしてみませんか。

**期間延長しました!**

**内容**  
みどりの食料システム戦略に基づいた取組を実施  
●具体例  
廃棄/食品残渣・畜糞物、下水汚泥の肥料化・飼料化  
生産/化学肥料の削減（土壌改良剤の可肥化、有機物の堆肥化）、化学農薬の削減（減じり剤の使用、F0コーティング、ピンポイント農薬散布、除草剤の導入）、CO<sub>2</sub>の削減（中干し農業の推進、パイオニアの農地土壌への投入等）  
加工・流通/食料ロス削減に向けた消費者啓発等の取組、環境負荷を削減した農産物の市場拡大、海外農産物の加工利用等  
消費/食品ロスの削減、消費者に対する環境配慮農産物の意識調査、地域の企業等と協働した環境負荷削減農産物の商品化等

・参加結果を盛り込んだポスター・動画動画を「学生チャレンジ」として各県イベント、YouTube配信等により紹介  
・意見交換会等による参加チーム間の交流を予定  
「第1回みどり戦略学生チャレンジ」の結果はこちら▶

**対象**  
01 高校の部  
（高等学校、高等専門学校、高等専門学校（3年生以下）の学生により構成されるグループ又は個人）  
02 大学・専門学校の部  
（大学、短期大学、専門学校、高等専門学校（4年生以上）の学生により

**事務局**  
農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ  
経営局就農・女性課  
03-3502-8056 midori-challenge@maff.go.jp

**募集期間**  
2025 (令和7年)  
1m | 2m | 3m | 4m | 5m | 6m | 7m | 8m | 9m | 10m | 11m  
参加登録期間 4/1 (7/31)  
ポスター提出期間 8/1 - 11/30  
取組実施期間 1/1 - 11/30  
2025 12m | 2026 (令和8年) 1m | 2m | 3m  
地方ブロック審査 全国審査 全国大会 (最終選考・発表会) 2/14  
全国出場者決定

農林水産省ホームページ  
(みどり学生チャレンジ)  
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/challenge.html>

## 4.募集内容

### (1) 取組内容

みどりの食料システム戦略に基づいた取組（調達、生産、加工・流通、消費に係る取組）とします。取組の具体例は以下のとおりです。なお、過去の受賞歴や未発表・既発表は問いませんが、過去にみどり戦略学生チャレンジに応募した経験がある者が、過去の応募時と同じ取組について再度応募する場合は、当該応募に際して新たに得られた成果を必ず含めることとします。

#### 【取組の具体例】

調達：食品残渣・廃棄物、下水汚泥の肥料化・飼料化

生産：化学肥料の低減（土壌分析を用いた可変施肥、有機質堆肥の使用等）、

化学農薬の低減（抵抗性品種の導入、ドローンを用いたピンポイント農薬散布、除草機の導入等）、CO<sub>2</sub>の削減（中干し期間の延長、バイオ炭の農地土壌への投入等）

加工・流通：長期保存に対応した冷凍保存技術等の開発、環境負荷を低減した農産物の市場拡大、規格外農産物の加工利用等

消費：食品ロスの削減、消費者に対する環境配慮型農産物の意識調査、地域の企業等と協働した環境負荷低減農産物の商品化等

※開発された技術の実装だけではなく、技術開発に関する実証や研究を含みます。

### (2) 取組実施期間

令和7年1月から11月までの期間（一部でも可）内に実施した取組を対象とします。

※過去から継続している取組であっても、当該期間内に実施されているものは対象に含みます。

**次は、**

**「スマート農業」**

**「農業DX」**

**について説明します。**

**デジタル技術が進化していく中で、  
農業分野でも、農業経営や地域の課題を解決するため  
に、様々な取組が始まっています。**

# 農作業の高度化・効率化の変遷（稲作の例）



## 共同で手作業

牛耕



手植え



手刈り



掛け干し



足踏脱穀機



唐箕



## 農業機械の導入

耕うん機



田植機



バインダー



ハーベスタ



## 農業機械の大型化

トラクター



乗用田植機



コンバイン



RTK基地局



水管理システム



防除用ドローン



可変施肥田植機



## デジタル技術 ・データの活用

自動走行トラクター



ロボット田植機



無人自動運転コンバイン



いろいろな考え方がありますが、

**「スマート農業」は、**

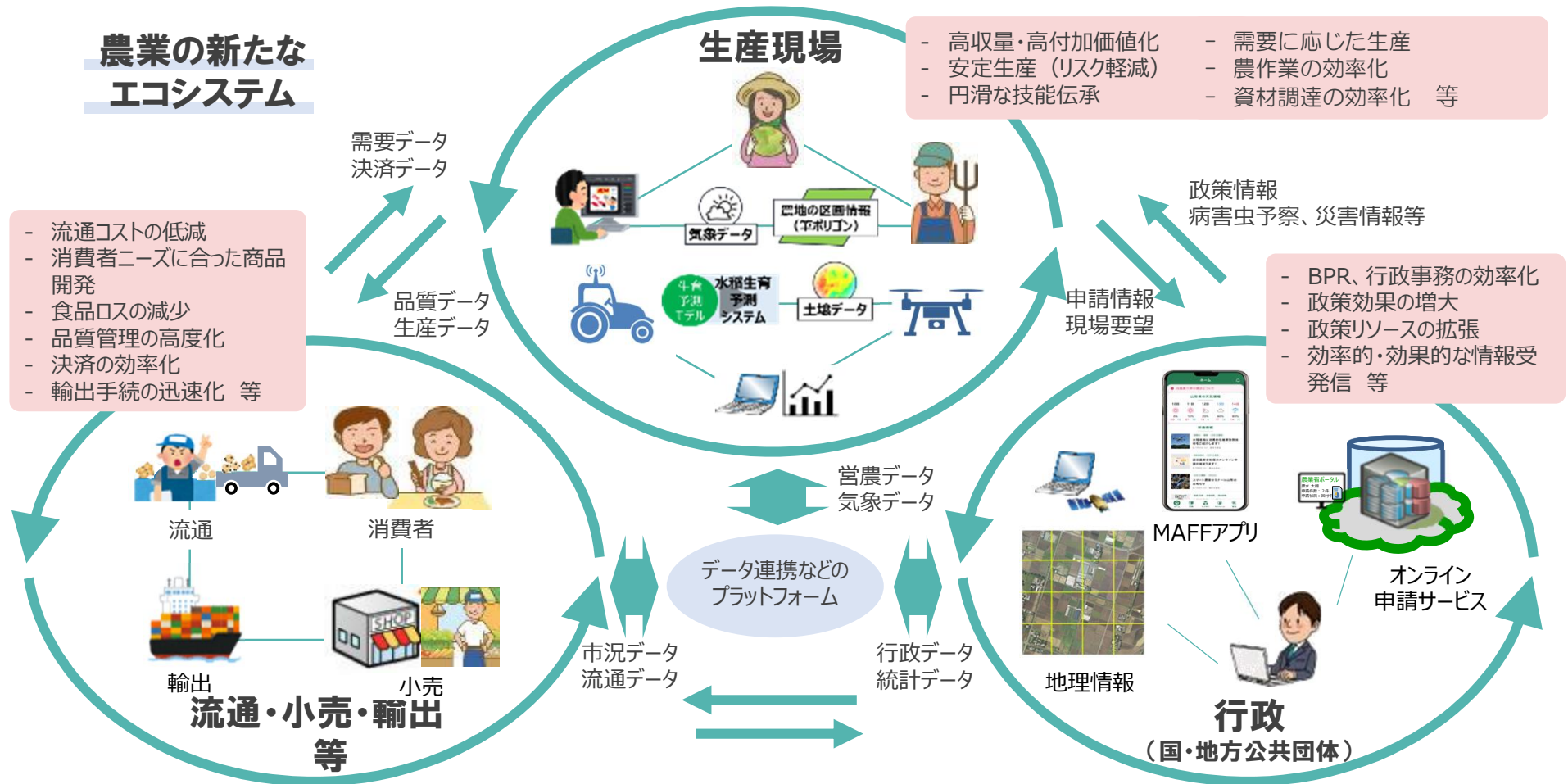
ロボット、AI、IoTなどのデジタル技術を活用して、  
労働力不足を補う、農業経営や地域農業を効率化する  
のが一般的

**「農業DX」は、**

農業のデジタルトランスフォーメーションのことで、  
デジタル技術だけでなく、データも活用して  
農業経営や地域農業を変革することがねらい

# 農業DXにより実現する農業の未来

- デジタル技術を活用した様々な主体がデータでつながり、  
一見矛盾する課題を乗り越えるイノベーションを起こし、消費者ニーズに的確に応える価値を創造・提供できる農業へ。



（2019年6月7日 IT総合戦略本部提出資料（抜粋、一部時点修正））

# 鹿児島県でのスマート農業・農業DX

## ドローン

ドローンによる防除・施肥



ドローンによる遮光剤塗布



## 自動運転

自動走行トラクター



無人自動運転散布車両による防除



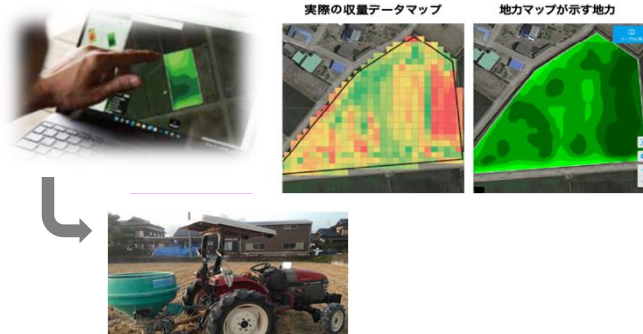
## 営農支援システム

システムによる作業管理等による営農の効率化



## センシング

人工衛星の画像データ等の分析による可変施肥



## 環境制御

気温、CO2、日射量等のデータに基づく栽培管理



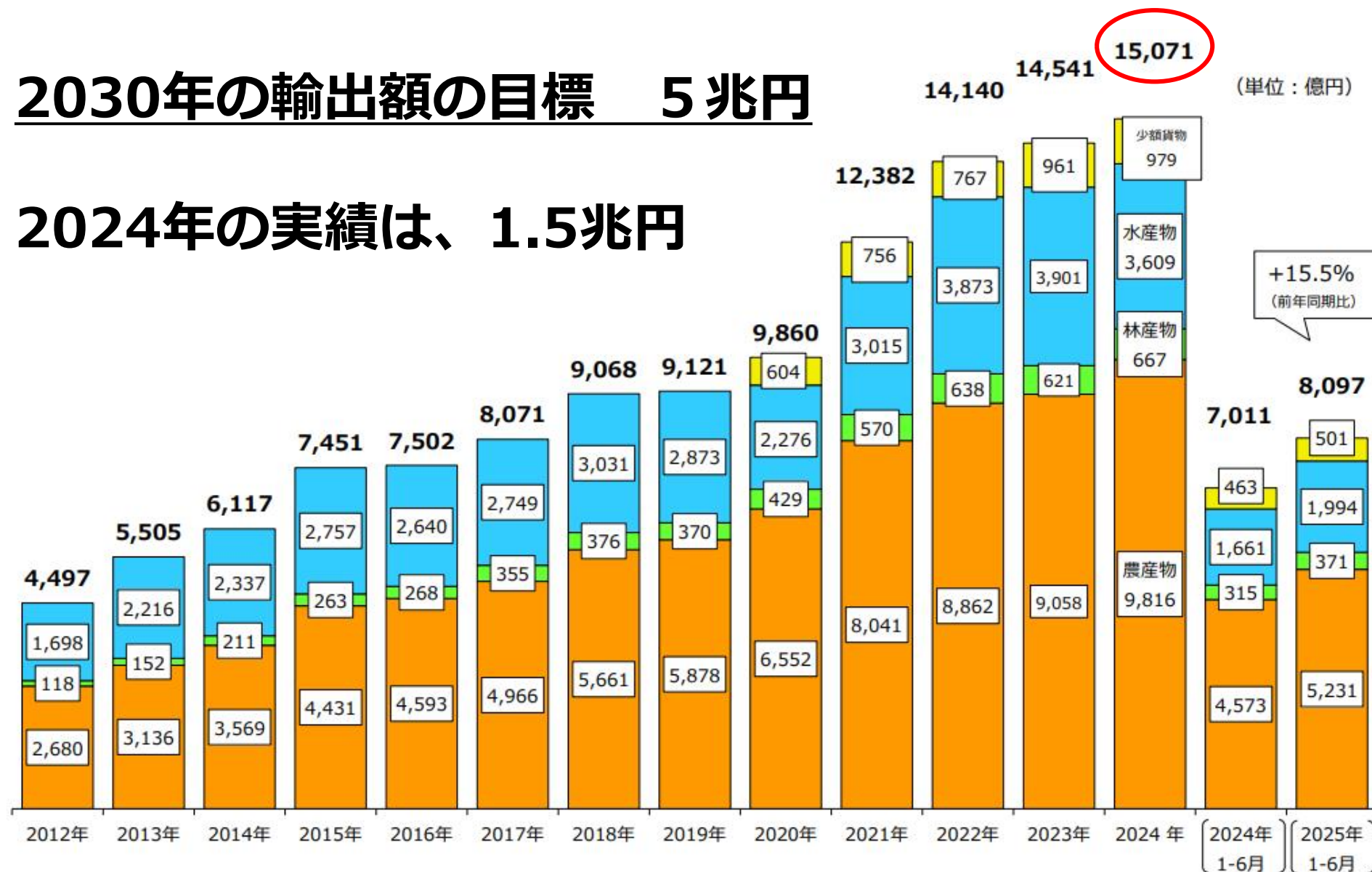
**次は、**

**輸出拡大に向けた取組について  
説明します。**

# 農林水産物の輸出額の推移

**2030年の輸出額の目標 5兆円**

**2024年の実績は、1.5兆円**



# 鹿児島県における農林水産物の輸出額の推移



## 鹿児島県の主な輸出品目（上位5位、令和6年度）

- 1位 牛肉 172.5億円（→ 米国、EUなどへ）
- 2位 養殖ブリ 148.6億円（→ 米国、香港などへ）
- 3位 お茶 63.4億円（→ 米国、EUなどへ）
- 4位 丸太など 47.3億円（→ 中国などへ）
- 5位 さつまいも 8.5億円（→ シンガポールなどへ）

## (参考) カミチクの食肉輸出

- ・ 鹿児島県内の生産者（26社）及び(株)カミチクファームにて生産された和牛を中心とした牛を鹿児島食肉センターでと畜し、(株)カミチクが加工・輸出を行っている。
- ・ 令和5年にコンソーシアムを設立。



## (参考) ヘンタ製茶の輸出拡大 (霧島市)

- ・平成27年から有機茶などの輸出に取り組む。
- ・有機茶を健康志向の強い層をターゲットに売り込み、輸出拡大につなげる。
- ・効果的なPRにより、自社ブランドの評価向上を図る。
- ・海外向けに、英語による説明を併記したパンフレットを作成。



## (参考) 大吉農園の野菜輸出 (指宿市)

- ・ 令和元年11月から輸出に取り組む。
- ・ JGAP、ASIAGAPを取得し、輸出先国のニーズに対応。
- ・ 輸出先の商品サイズや梱包個数に応じるため、栽培品種の検討と生産計画を見直し対応。
- ・ 経営理念は、消費者目線にたち、我が子によろこばれる野菜づくり。



## (参考) Japan potatoのサツマイモの輸出

- ・ 2018年から輸出事業を開始し、シンガポール、香港等へ輸出。輸出量の拡大に伴い、鹿児島県だけでなく茨城県、千葉県の生産者と契約し商品を確認している。
- ・ 国際認証の取得として、グローバルGAP認証とUSDA (米国) の有機認証を取得済。

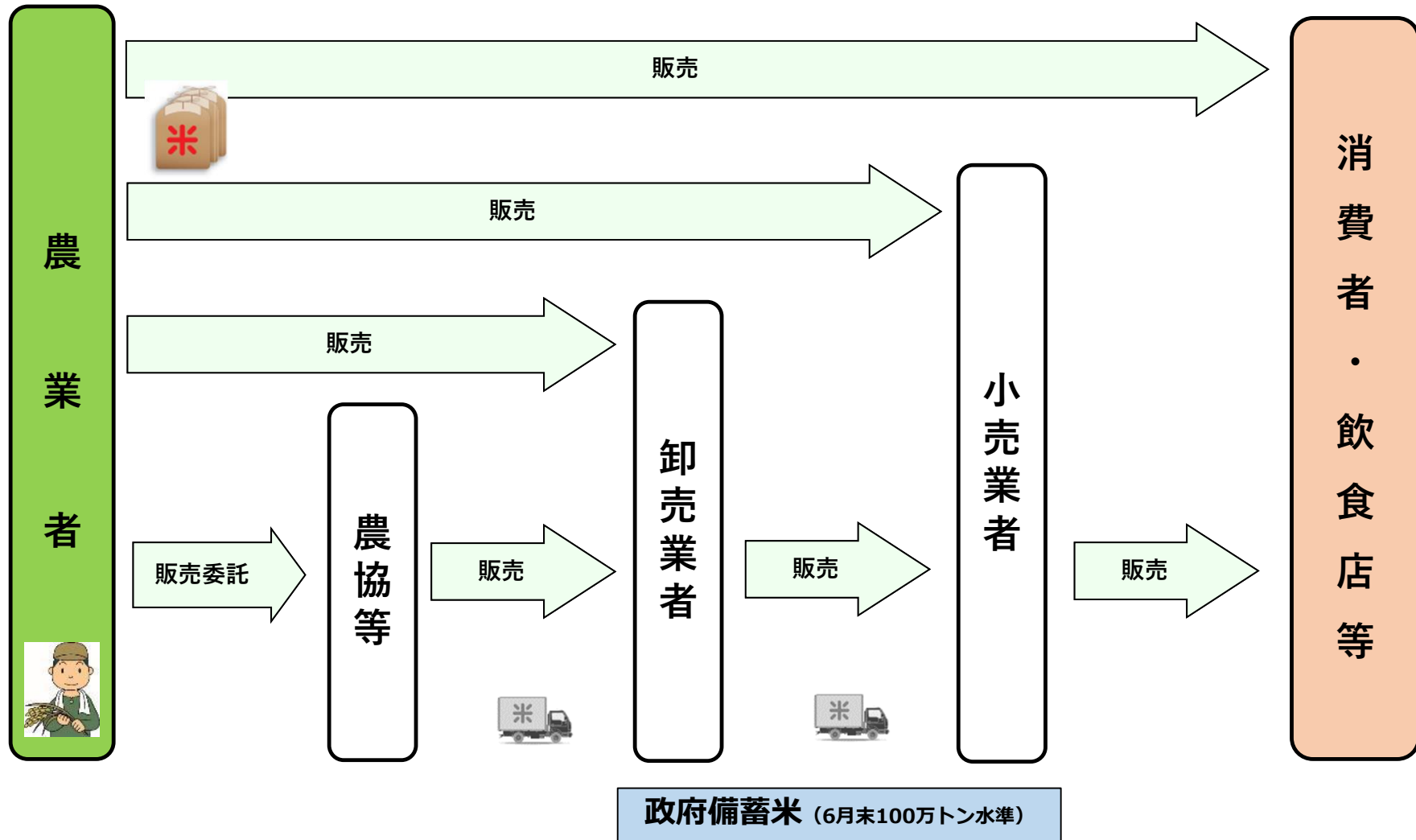


**次は、**

**最近の米事情について説明します。**

# 米の生産・流通の主な流れ

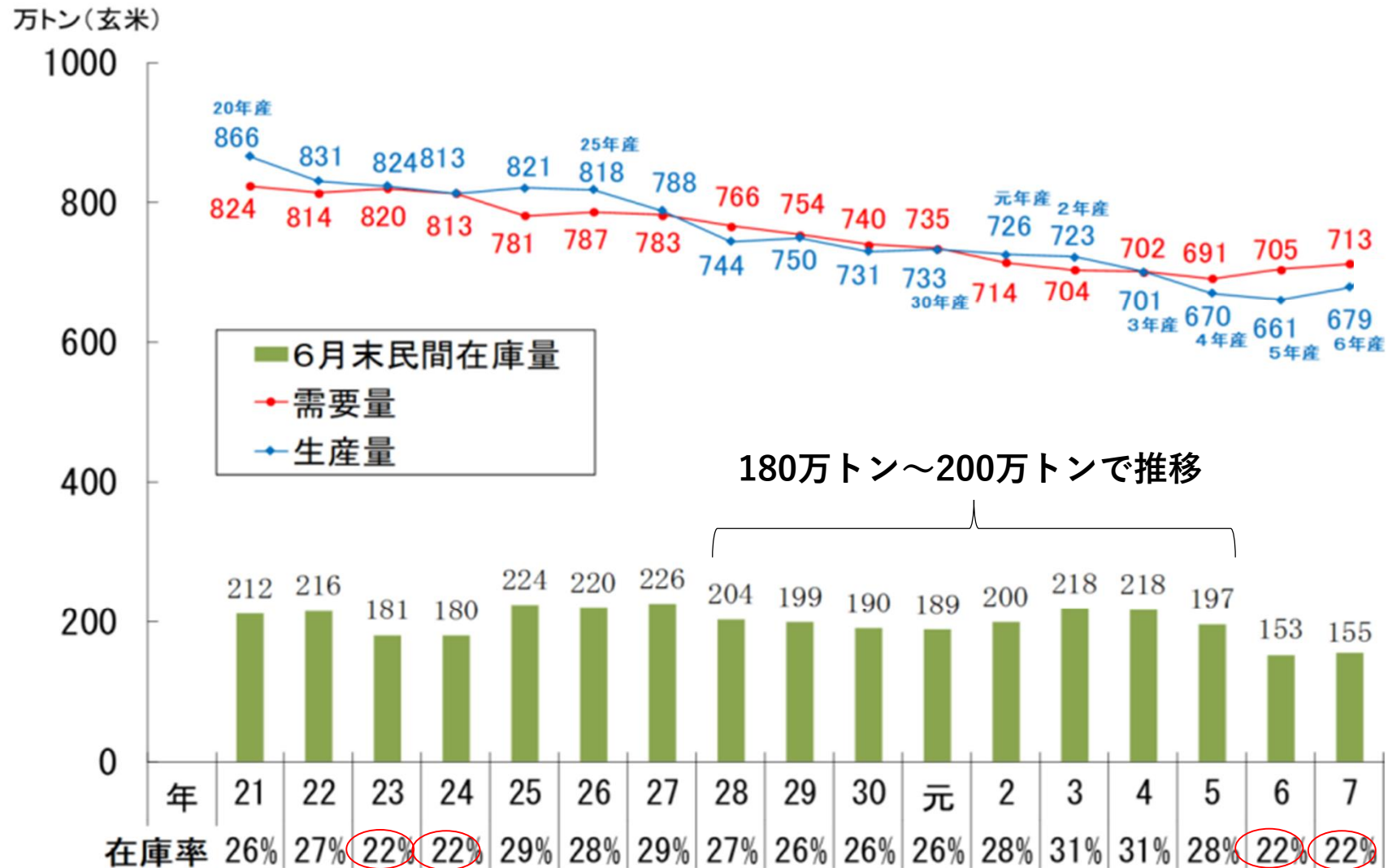
販売先を確保できない農業者は、通常は農協等に販売委託



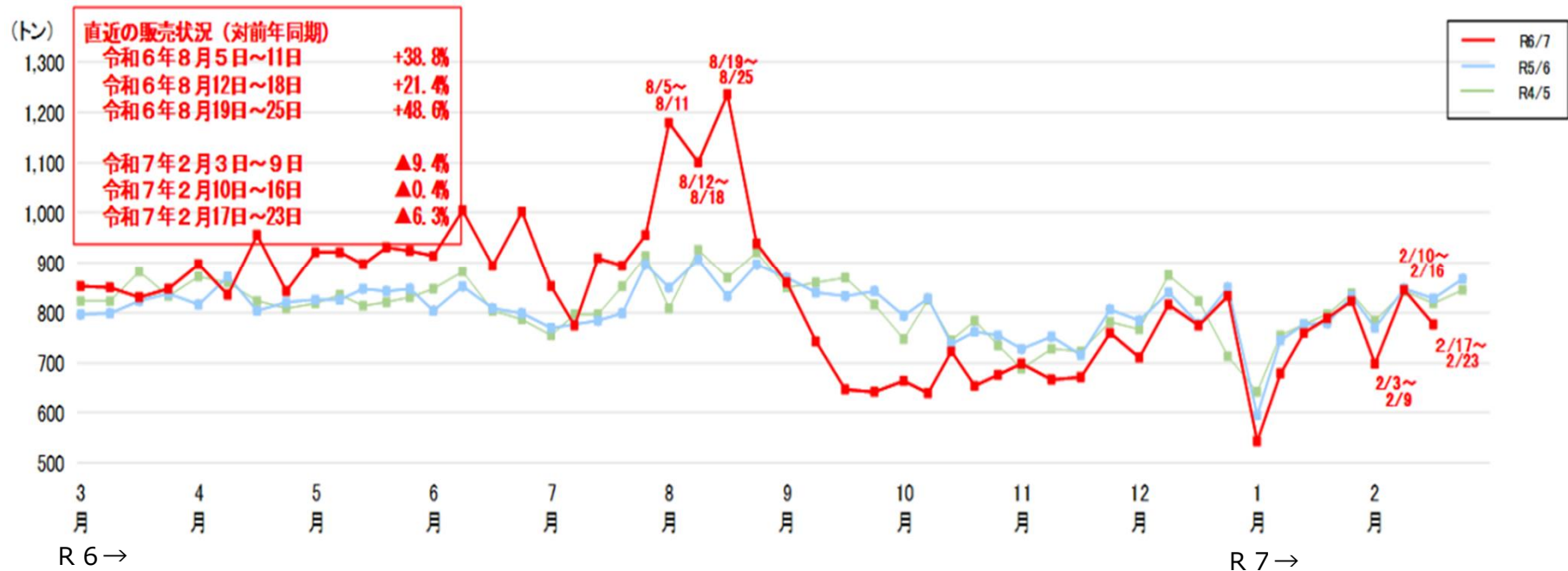
※ 米は、主食用米のほかに、加工米飯、清酒・焼酎、米粉、酢、米菓、味噌、包装もちなどに流通しています。

# 6月末の民間在庫量は、近年は低い水準 (米は秋に収穫されて販売開始。6月末頃が通常端境期)

- 近年、需要量が生産量を上回る状況で推移



# スーパーでは、令和6年夏に、買込み需要が発生

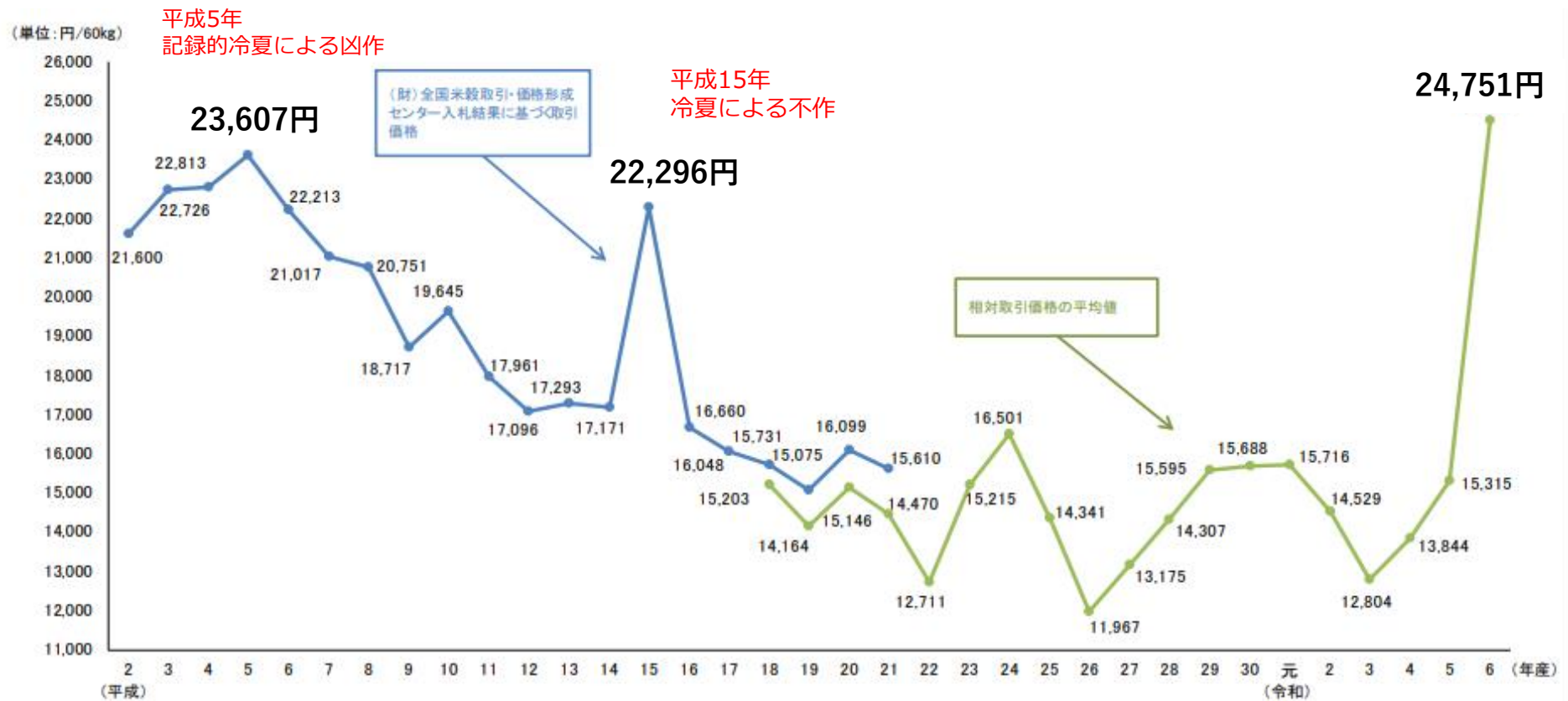


資料:(株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗のスーパー、生協等)に基づいて農林水産省が作成。  
 注:週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは異なる場合がある。

南海トラフ地震警報、大型台風などの影響

# 価格は需要と供給のバランスで決まる

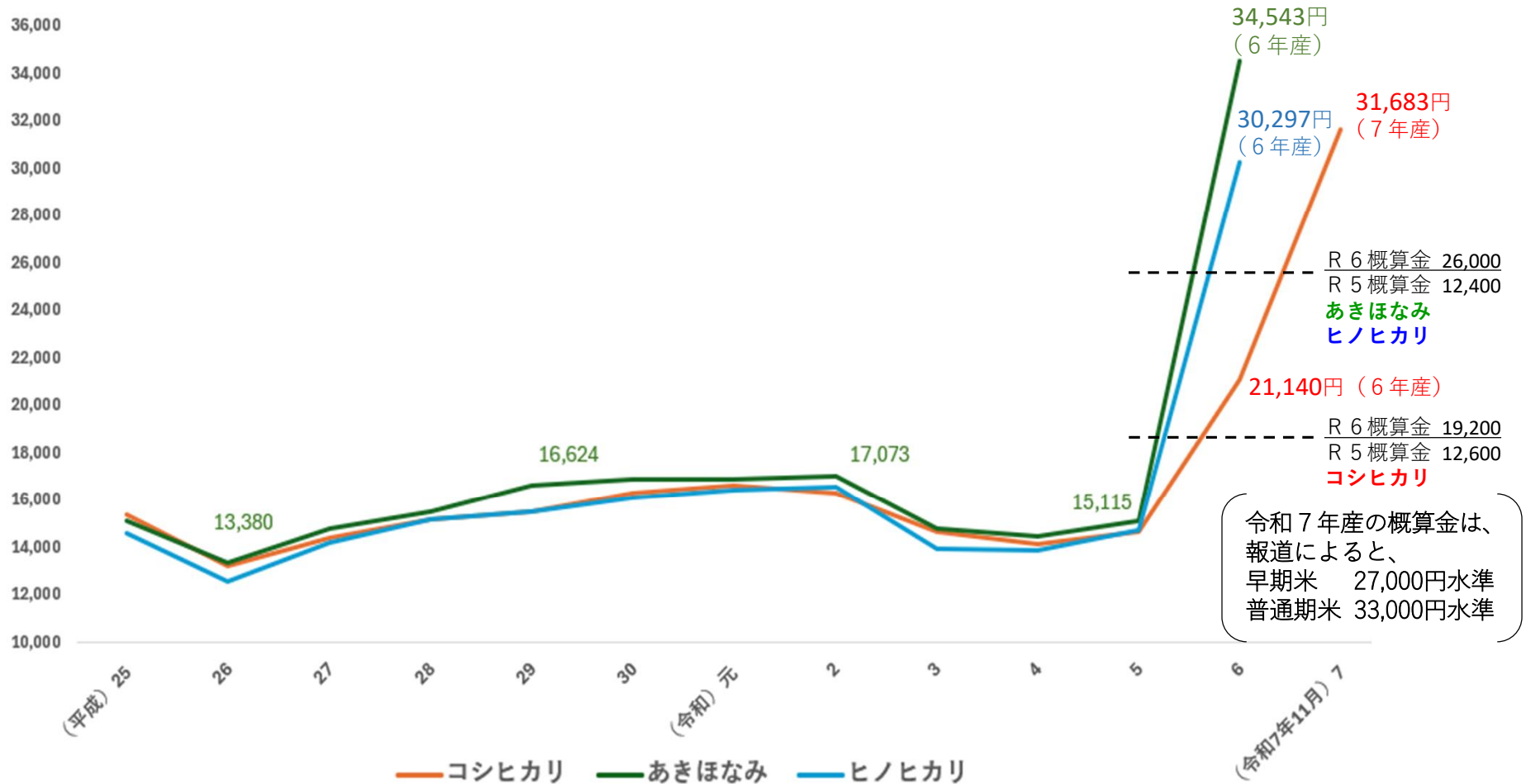
平成の5年産や15年産は、不作で生産量が減少  
令和の5年産や6年産は、高温障害等で精米が不足



注：年産別平均価格（令和6年産は、出回りから令和7年6月までの速報値）。

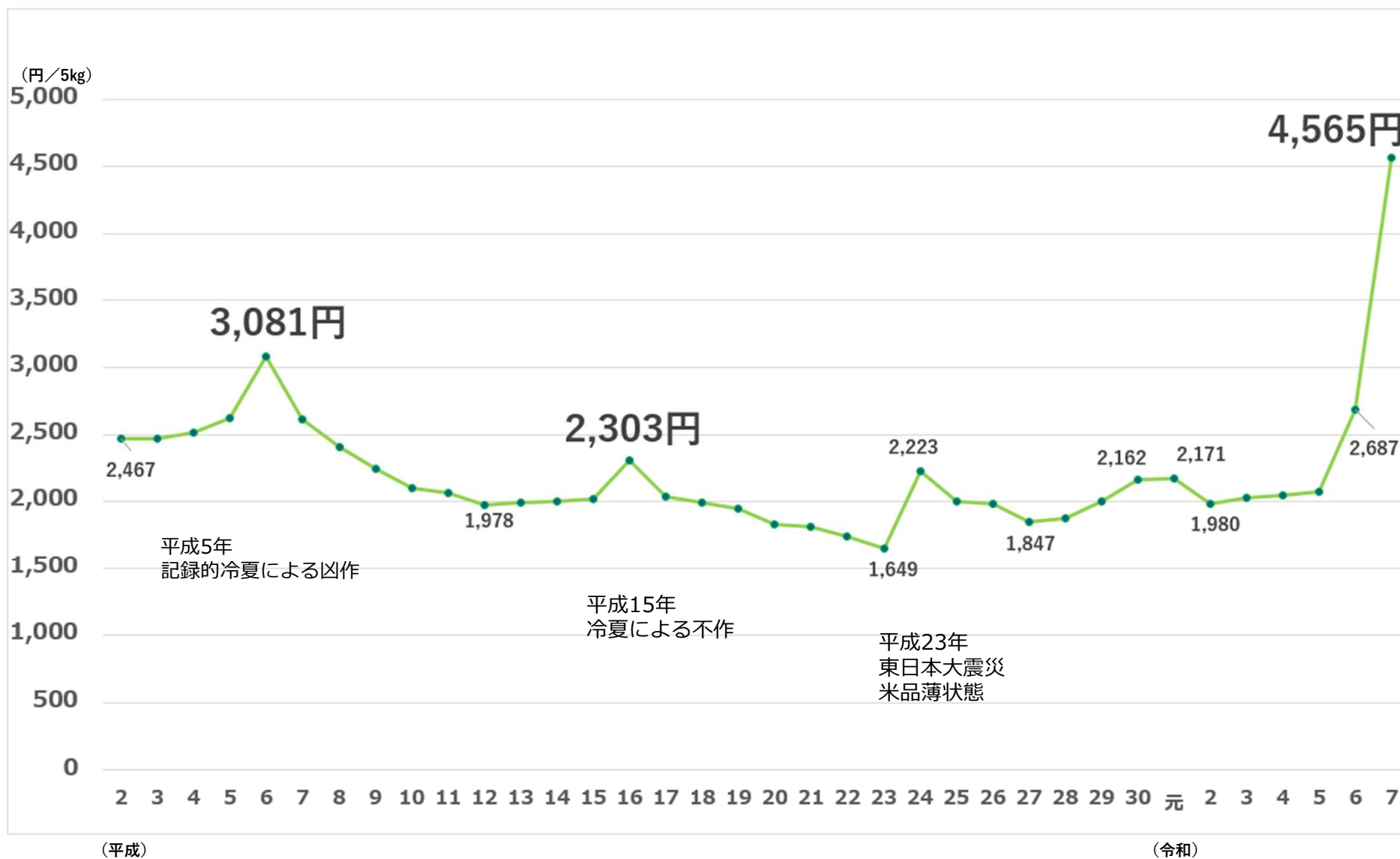
# (参考) 鹿児島県産米の価格の推移

主食用1等、円/玄米60Kg (税込)



資料：農林水産省ホームページ「米に関するマンスリーレポート」より  
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

# (参考) 店頭での精米価格 (5 kg) の推移



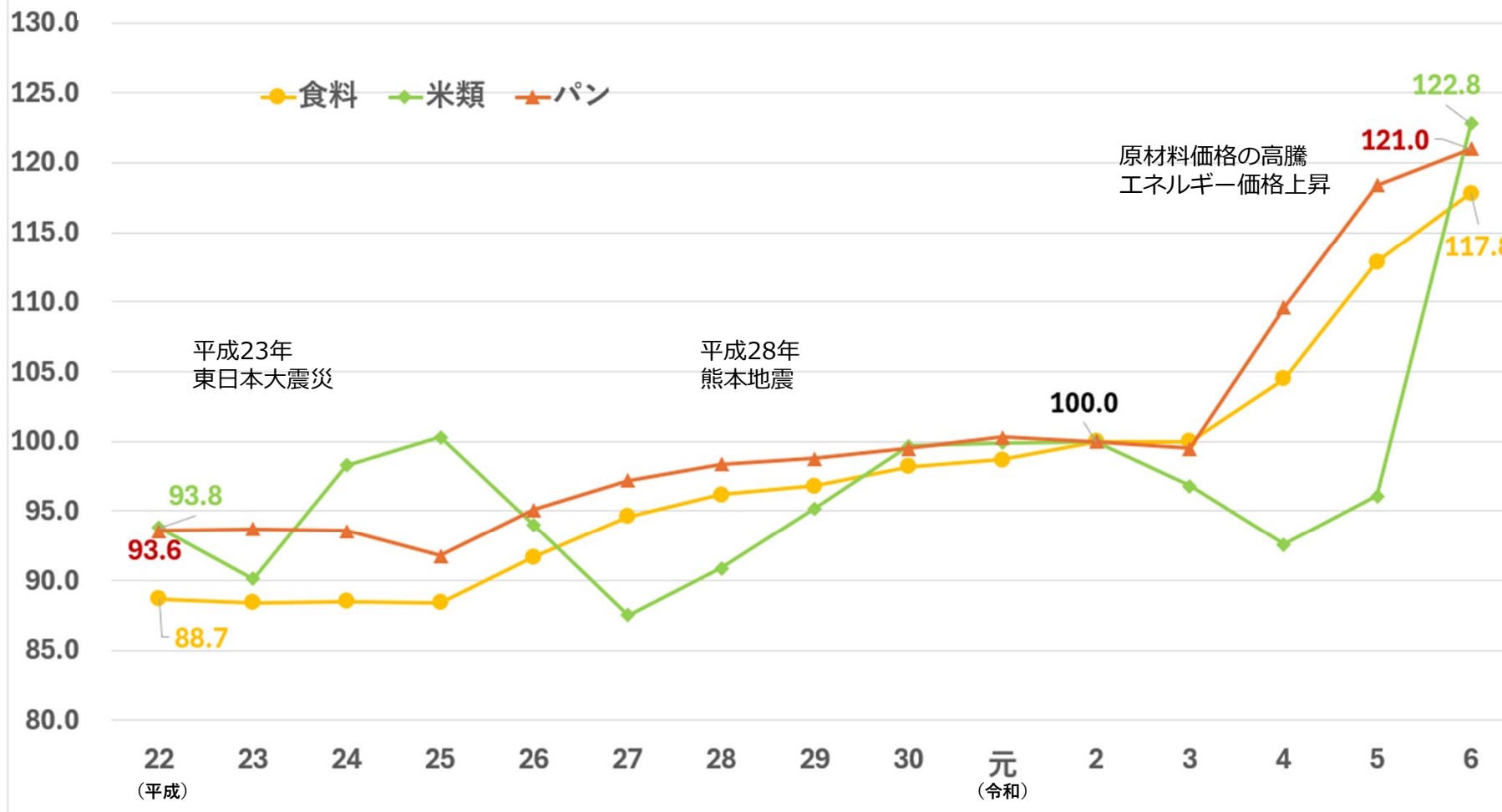
出展：総務省統計局の小売物価統計調査（動向編）

注：主要品目の都市別小売価格-都道府県庁所在市及び人口15万以上の市  
うるち米(単一原料米, 「コシヒカリ」以外)

※令和7年は、1～11月の平均価格

# (参考) 消費者物価指数の推移 (品目別価格指数：食料、米類、パン)

- 価格が上昇しているのは、米だけではない。



出展：総務省統計局消費者物価指数

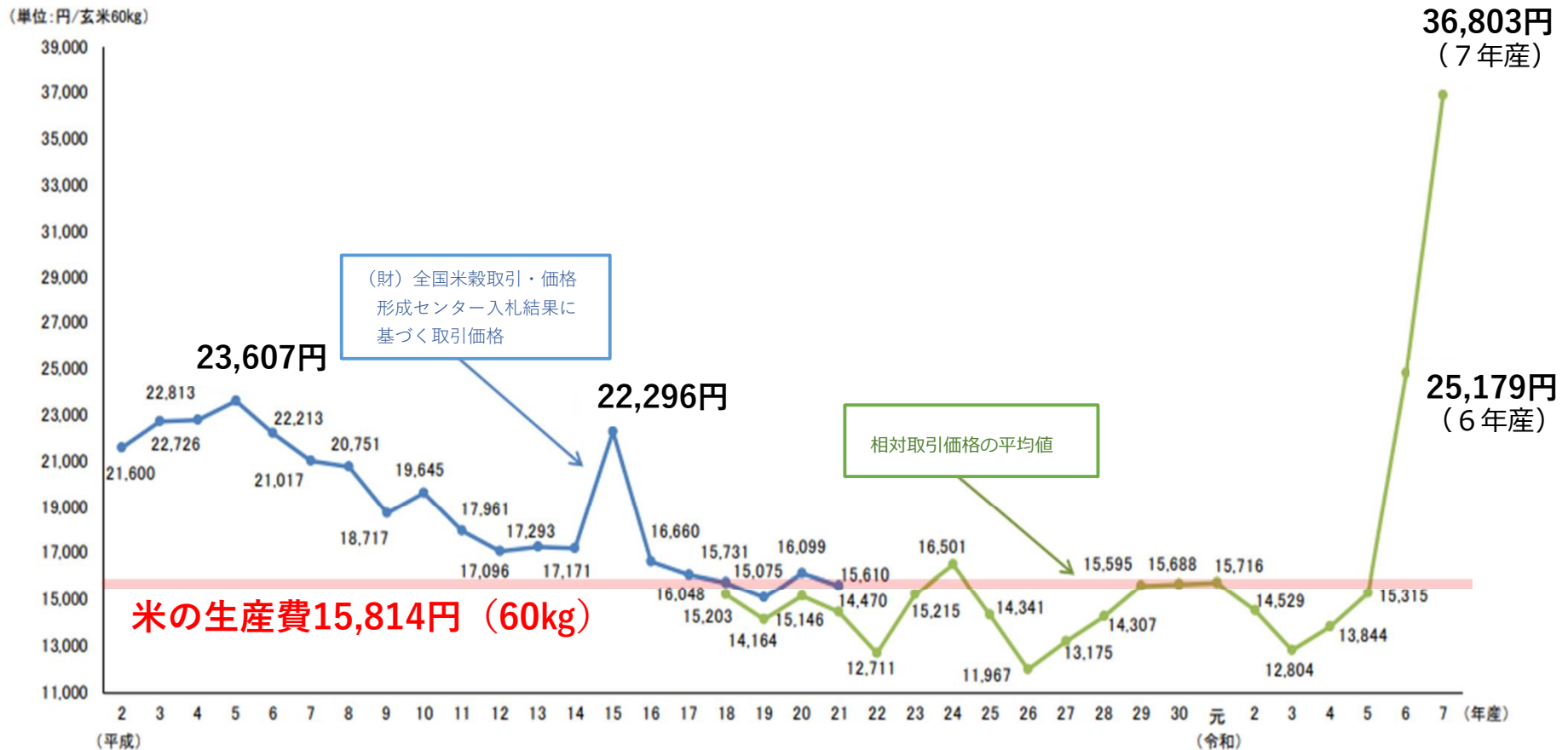
※消費者物価指数とは  
一般消費者が日常的に購入する商品  
やサービスの価格変動を測定する指標

※品目別価格指数とは  
特定の品目の価格が、ある基準時点  
を100として、比較時点での価格をどの  
ように変化したかを示す指数

※ 令和2年（2020年）を指数100とした場合

# (参考) 米の販売価格と生産費の関係

- 米も商品であり、生産するには、肥料、機械等の物財費や労働費等がかかる。



注：年産別平均価格（令和6年産及び令和7年産は、出回りから令和7年9月までの速報値）。

※ 米の生産費は、令和6年産のデータ（全算入生産費）。

# (参考) 「ごはん」と「ぱん」の比較 (試算)



茶わん一杯 (例: 65グラム)



食ぱん 2枚 (例: 120グラム)

カロリー **234 kcal**

**298 kcal**

価格 **約50円**  
(例: 3,500円/5kg)

**約150円**  
(例: 400円/一斤、国産小麦)

# 「ヒノヒカリ」と「あきの舞」

おいしい

- 「ヒノヒカリ」と同程度の良食味



<食味アンケート結果※>

- もちもちしている
- 甘みがあって美味しい
- 粒感がある など

※令和6年10月,消費者を対象に実施  
※個人の感想です

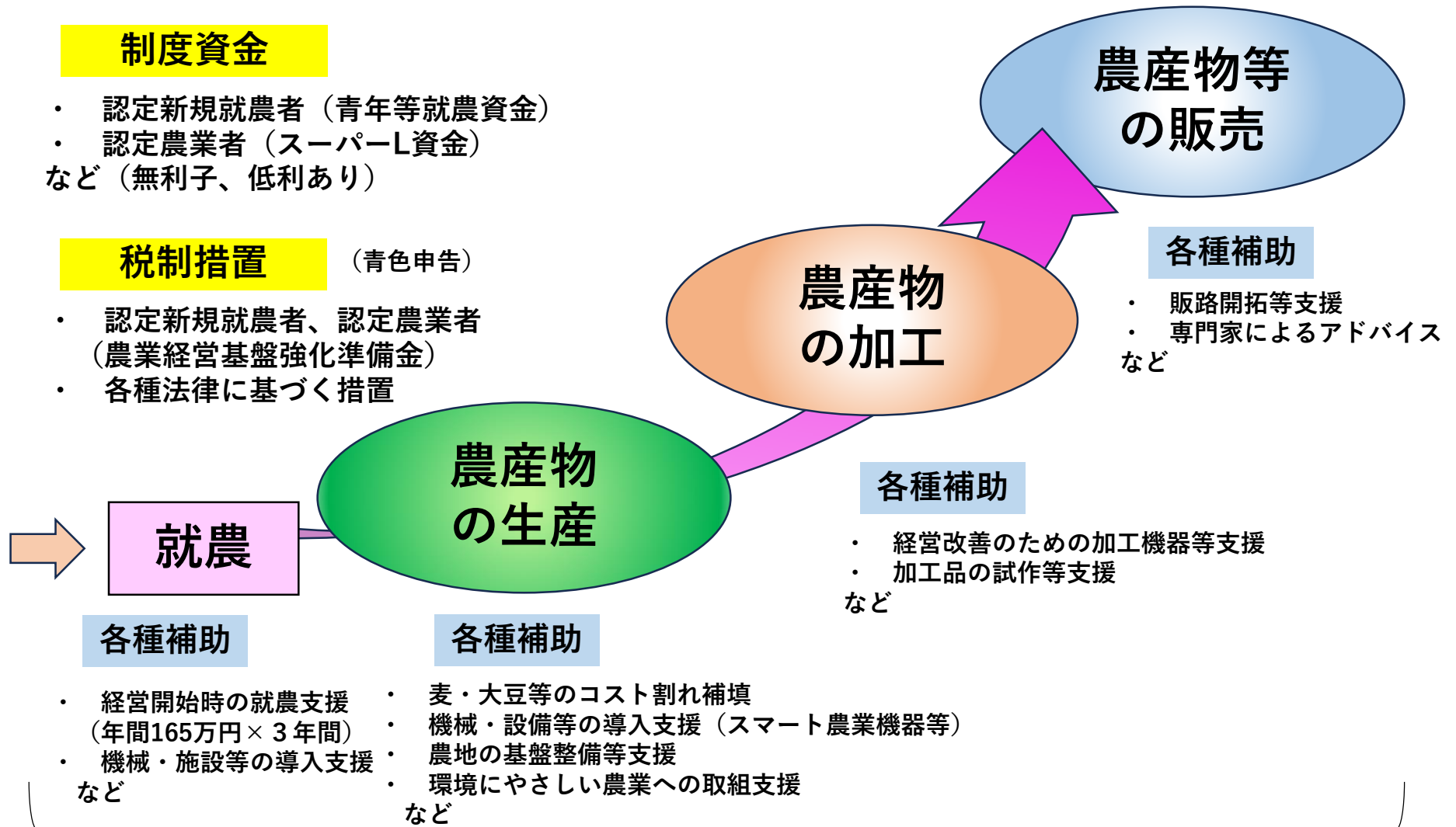
高品質

- 暑さに強く, 暑い夏でも外観品質が低下しにくい



- 暑さによる品質低下は, 食味の低下につながります
- 「ヒノヒカリ」よりも少し粒が大きいです

# 農業経営に対する主な政策支援



自然災害、価格低下等のリスクへの対応  
**収入保険、農業共済、野菜価格安定制度などや、民間損保への加入**

注：R8年度予算概算決定をベースに作成

# 農林水産省九州農政局鹿児島県拠点では SNSの公開ページを開設しました！

農政の動き、鹿児島県拠点の活動レポートなど、  
タイムリーに配信いたします！

## Facebook



九州農政局鹿児島県拠点

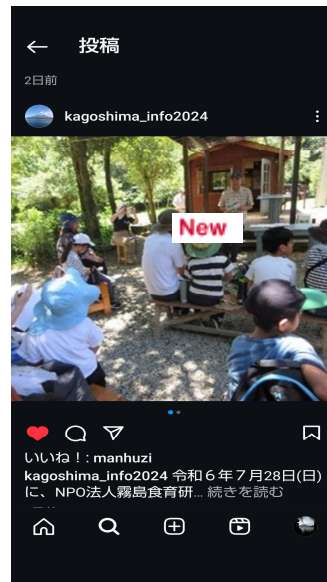


リンク先

→<https://www.facebook.com/kagoshimakenkyoten>



## Instagram



リンク先

→[https://www.instagram.com/kagoshima\\_info2024/](https://www.instagram.com/kagoshima_info2024/)



## X(エックス)



リンク先

→[https://x.com/kyushu\\_kago](https://x.com/kyushu_kago)



**ご清聴、ありがとうございました。**

**資料に関するお問い合わせは、  
九州農政局鹿児島県拠点にお願いします。**

**連絡先：099(222)5840**